

# 倉敷市立自然史博物館報

28

(平成30年度)



**岡山の野鳥たち**  
～むかし・いま・みらい～

倉敷市立自然史博物館第27回特別展  
会期：平成30年 7月14日(土)～9月17日(月・祝)

主催／倉敷市立自然史博物館  
共催／日本野鳥の会岡山県支部・倉敷市立自然史博物館友の会  
会場／倉敷市立自然史博物館 3階特別展示室  
開館時間／9時00分～17時15分(入館は16時45分まで)

観覧料／一般 150円(100円) 大学生 50円(30円) 0 内は20名以上の団体料金 高校生以下と65歳以上は無料  
休館日／月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日) 月曜日が祝日または振替休日の場合は翌日になります

倉敷市立自然史博物館

令和元年7月1日発行



# 目次

<b>I. 資料収集保管事業</b>			4	動物研究会	13
1	寄贈標本	1	5	むしむし探検隊	13
2	寄託	3	6	地学教室	13
3	館員による採集	3	7	自然素材を使った手作り教室	13
4	受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	3	8	折り紙教室	13
5	二次資料	4	9	スライド観写会	13
6	登録済み資料点数	5	10	昆虫標本作り体験教室	14
7	標本整理ボランティアの活動	5	11	第18回11月3日は自然史博物館まつり	14
8	博物館のお宝探検	5	12	体験！ないと・みゅーじあむin自然史博物館	14
9	館外者による収蔵資料の利用	5	13	出版物	14
10	収蔵資料を活用した業績	5	14	レファレンス	14
11	収蔵庫の充実	6	15	ガイダンス	14
12	収蔵庫の燻蒸	6	16	博物館実習生等の受け入れ	14
			17	講師派遣	15
			18	マスコミ報道	15
<b>II. 調査研究事業</b>			19	学校用標本の貸出	17
1	機関研究	6	20	倉敷市立自然史博物館友の会の活動	17
2	分野別研究テーマ	7			
3	研究業績などの公表	7			
4	査読	10	<b>V. 庶務</b>		
5	助成研究	10	1	沿革	19
			2	各室現有面積	19
			3	組織	19
<b>III. 展示事業</b>			4	委員・役員委嘱	20
1	常設展	10	5	会議等派遣	21
2	特別展	10	6	広報活動	22
3	特別陳列	11	7	職員の派遣研修参加	22
4	ミニ水族館の展示	12	8	視察来館	22
5	常設展示の更改	12	9	無料開放	22
6	生きた動植物の展示	12	10	予算・決算	22
7	恐竜と季節の植物のめり絵	12	11	年間利用者数	23
8	自然情報掲示板の設置	12			
9	倉敷まちかど博物館	12			
10	ボランティアの活動	12			
<b>IV. 教育普及事業</b>					
1	自然観察会	13		倉敷市立自然史博物館の運営方針	
2	博物館講座	13		倉敷市立自然史博物館の資料収集方針	
3	自然の標本なんでも相談会	13		倉敷市立自然史博物館案例	
				倉敷市立自然史博物館案例施行規則	
				利用案内	

# I. 資料収集保管事業

1 寄贈標本 (敬称略)				7月19日	吉備中央町産植物標本	1点	小橋理絵子
(1) 地学分野 (6件計約1,054点)				7月22日	岡山県産植物標本	10点	榎本 敬
4月25日	化石標本	約1,000点	谷本 隆	7月28日	岡山県産植物標本	5点	岡本泰典
8月8日	銅鉱石 (兵庫県養父市明延鉱山)			7月28日	岡山県産植物標本	27点	稲神邦代
		1点	武智泰史	7月28日	国内産植物標本	18点	松本哲也
10月21日	閃ウラン鉱 (ドイツ)	1点	竹田光三	7月31日	岡山県産植物標本	21点	榎本 敬
11月28日	鉱物・岩石	約50点	山田國夫	8月2日	岡山県産植物標本	14点	榎本 敬
1月17日	斑銅鉱	1点	川上 喬	8月3日	岡山県産植物標本	41点	小橋理絵子
1月18日	菱マンガン鉱 (北海道仁木町然別 大江鉱山)			8月7日	国内産植物標本	4点	榎本 敬
		1点	猪飼一夫	8月11日	岡山県産植物標本	15点	小橋理絵子
				8月11日	総社市産植物標本	1点	岡本泰典
(2) 植物分野 (102件計約9,000点)				8月11日	国内産植物標本	13点	木下延子
4月12日	国内産植物標本	3点	稲神邦代	8月15日	岡山市産植物標本	13点	鈴木悠陸
4月12日	マルバラフウロ	1点	木下延子	8月15日	宮崎県延岡市産植物標本	15点	中島智子
4月12日	岡山県産植物標本	16点	小橋理絵子	8月16日	岡山県産植物標本	2点	岡田智子
4月14日	マンネンタケ	3点	山地 治	8月18日	岡山県産植物標本	67点	溝手啓子
4月20日	国内産海藻標本	約3,000点	福田富男	8月19日	国内産植物標本	27点	木下延子
4月27日	岡山県産植物標本	27点	裾分由美子	8月19日	岡山県産植物標本	43点	裾分由美子
4月27日	岡山県産植物標本	7点	稲神邦代	8月23日	岡山県産植物標本	9点	小橋理絵子
5月4日	岡山県産植物標本	23点	小橋理絵子	8月29日	岡山県産植物標本	17点	稲神邦代
5月4日	岡山県産植物標本	6点	佐乗信也	9月5日	岡山県産植物標本	14点	榎本 敬
5月7日	岡山県産植物標本	31点	片山 久	9月6日	国内産植物標本	15点	溝手啓子
5月8日	岡山県産植物標本	42点	榎本 敬	9月6日	岡山県産植物標本	10点	小橋理絵子
5月8日	岡山県産植物標本	16点	佐乗信也	9月14日	岡山県産植物標本	41点	小橋理絵子
5月10日	アヤメ	2点	木下延子	9月15日	岡山県産植物標本	13点	榎本 敬
5月18日	岡山県産植物標本	3点	小橋理絵子	9月16日	国内産植物標本	42点	溝手啓子
5月20日	岡山県産植物標本	45点	田淵正和	9月21日	岡山県産植物標本	18点	榎本 敬
5月22日	岡山県産植物標本	10点	榎本 敬	9月30日	国内産植物標本	34点	稲神邦代
5月22日	ヘラシダ	1点	稲神邦代	9月30日	国内産植物標本	40点	裾分由美子
5月25日	岡山県産植物標本	17点	小橋理絵子	9月30日	岡山県産植物標本	5点	榎本 敬
5月29日	岡山県産植物標本	34点	榎本 敬	10月2日	岡山県産植物標本	16点	榎本 敬
5月30日	岡山県産植物標本	92点	溝手啓子	10月12日	岡山県産植物標本	2点	辻 弘美
6月1日	岡山県産植物標本	12点	小橋理絵子	10月12日	岡山県産植物標本	63点	小橋理絵子
6月3日	岡山県産植物標本	19点	榎本 敬	10月12日	岡山県産植物標本	28点	榎本 敬
6月3日	ギンバイソウ	1点	田淵正和	10月12日	岡山県産植物標本	2点	川上節子
6月7日	岡山県産植物標本	19点	小橋理絵子	10月12日	岡山県産植物標本	20点	裾分由美子
6月7日	岡山県産植物標本	4点	佐乗信也	10月12日	国内産植物標本	63点	溝手啓子
6月9日	岡山県産植物標本	21点	榎本 敬	10月13日	岡山県産植物標本	12点	小橋理絵子
6月15日	岡山県産植物標本	13点	榎本 敬	10月16日	岡山県産植物標本	23点	榎本 敬
6月22日	岡山県産植物標本	39点	裾分由美子	10月23日	岡山県産植物標本	13点	小橋理絵子
6月22日	岡山県産植物標本	3点	佐乗信也	10月23日	岡山県産植物標本	2点	岡田智子
6月23日	岡山県産植物標本	16点	榎本 敬	10月31日	岡山県産植物標本	11点	稲神邦代
7月6日	岡山県産植物標本	29点	小橋理絵子	11月6日	国内産植物標本	77点	溝手啓子
7月6日	国内産植物標本	8点	窪田正彦	11月8日	国内産植物標本	16点	稲神邦代
7月10日	岡山県産植物標本	16点	榎本 敬	11月19日	河川水辺の国勢調査採集標本		
7月12日	岡山県産植物標本	77点	溝手啓子			126点	榎ウエスコ
7月12日	岡山県産植物標本	10点	稲神邦代	11月21日	岡山県産植物標本	16点	榎本 敬
7月14日	岡山県産植物標本	12点	小橋理絵子	11月28日	岡山県産植物標本	11点	榎本 敬
7月14日	岡山県産植物標本	1点	高原千春	11月30日	国内産植物標本	101点	溝手啓子

12月21日	笠岡市産植物標本	1点		1月12日	岡山県産昆虫類	1点	武田寛生
	(公財)岡山県環境保全事業団			1月12日	日本産昆虫類	2点	伊藤 淳
12月27日	岡山県産植物標本	7点	木下延子	1月13日	日本産昆虫類	4点	藤本 緑
12月27日	岡山県産植物標本	6点	田淵正和	1月13日	岡山県産昆虫類	1点	藤原満徳
12月27日	岡山県産植物標本	40点	裾分由美子	1月13日	岡山県産昆虫類	1点	雨森友江
1月10日	三重県産植物標本	2点	森下裕子	1月16日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
1月10日	国内産植物標本	11点	溝手啓子	1月22日	岡山県産昆虫類	4点	安田智子
1月18日	岡山市産植物標本	3,353点		1月23日	日本産昆虫類	約15,000点	清水健一
	高島旭竜エコミュージアム植物部会			1月31日	岡山県産昆虫類	2点	
1月22日	Aristolochia属植物標本	1点	松本哲也				岡山県自然環境課
2月3日	国内産植物標本	29点	岡田智子	2月8日	日本産昆虫類	3点	間野隆裕
2月8日	岡山県産植物標本	5点	稲神邦代	2月19日	岡山県産昆虫類	4点	奥島雄一
2月20日	アカバナ科植物標本	2点	波田善夫	2月20日	岡山県産昆虫類	2点	
2月23日	岡山県産水草標本	439点	藪内喜人				武田寛生・武田雅生
2月24日	岡山県産植物標本	2点	稲神邦代	3月21日	岡山県産昆虫類	4点	矢口芽生
2月24日	岡山県産植物標本	47点	岡田智子	3月21日	岡山県産昆虫類	1点	千田喜博
3月12日	東京都産植物標本	5点	稲神邦代	3月24日	岡山県産昆虫類	約2,000点	渡部 健
3月28日	岡山県産植物標本	155点	岡田智子				
3月29日	国内産植物標本	48点	溝手啓子				
(3) 昆虫分野 (45件計約45,294点)				(4) 動物分野 (64件計約26,187点)			
4月14日	岡山県産昆虫類	約27,300点		4月14日	岡山県産クモ類	約1,800点	
	(株)ウエスコ	貸谷康宏					(株)ウエスコ 貸谷康宏
6月5日	岡山県産昆虫類	2点	小野正昭	4月17日	ハシボンガラス	1点	大山高宏
7月5日	岡山県産昆虫類	1点	石原隆志	4月25日	ヒドリガモ♂	1点	山崎法子
7月16日	岡山県産昆虫類	1点	遠藤 尊	4月25日	ツグミ♂	1点	山崎法子
8月24日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	4月25日	タヌキ	1点	山崎法子
8月29日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代	4月25日	シロハラ♀A	1点	林 弘子
8月29日	岡山県産昆虫類	1点	蜂谷さら	4月25日	モズ(幼鳥)	1点	貝原千恵子
8月29日	岡山県産昆虫類	1点	栗原洋子	4月25日	モズ♂	1点	山崎法子
8月30日	岡山県産昆虫類	18点	小橋理絵子	5月4日	スズメ	1点	安達由莉
9月6日	岡山県産昆虫類	6点	小橋理絵子	5月4日	スズメ	1点	安達由莉
9月21日	日本産昆虫類	820点	國本尚憲	5月4日	シュレーゲルアオガエル	1点	小橋理絵子
10月14日	岡山県産昆虫類	18点	江木寿男	5月4日	マガモ	1点	中藤 駿
10月23日	岡山県産昆虫類	2点	小橋理絵子	5月4日	シマヘビ	1点	中藤 駿
11月13日	日本産昆虫類	9点	奥島雄一	5月4日	ネズミ	1点	中藤 駿
11月14日	岡山県産昆虫類	1点	樫本昌彦	5月4日	ネズミ	1点	中藤 駿
11月25日	岡山県産昆虫類	2点	矢口芽生	5月4日	シロハラ	1点	越山洋三
11月28日	日本産昆虫類	2点	黒木理宇	5月4日	シロハラ	1点	原田 愛
12月1日	岡山県産昆虫類	2点	山川 遼	5月4日	ホオジロ	1点	奥島雄一
12月1日	岡山県産昆虫類	2点	千田喜博	5月4日	シジュウカラ	1点	原田 愛
12月11日	日本産昆虫類	2点	奥島雄一	5月12日	シカ	1点	岡本泰典
12月20日	岡山県産昆虫類	2点	末長晴輝	5月25日	タヌキ	1点	原田 愛
12月22日	日本産昆虫類	11点	佐々木良一	6月15日	ムクドリ	1点	景山結花
12月26日	岡山県産昆虫類	38点	末長晴輝	6月15日	カワラヒワ(幼)	1点	景山結花
12月26日	岡山県産昆虫類	11点	小橋理絵子	7月15日	キビタキ	1点	藤田人己
1月10日	岡山県産昆虫類	1点	岡本泰典	9月17日	ウシガエル	1点	奥島雄一
1月11日	岡山県産昆虫類	1点	土松竜一	9月17日	ハシブトガラス	1点	大山望実
1月11日	岡山県産昆虫類	1点	森下 賢	9月17日	フクロウ	1点	原田 愛
1月11日	岡山県産昆虫類	1点	中原一儿	9月17日	ヤマカガシ	1点	安達由莉
1月11日	岡山県産昆虫類	1点	山本信子	9月17日	キツネ	1点	大山望実
1月12日	日本産昆虫類	5点	稲神邦代	9月17日	パン	1点	大山望実
				9月17日	スズメ	1点	大山望実

9月19日	アリグモ	1点	松岡恭生
10月12日	ヒヨドリ	1点	林 弘子
10月12日	剥製	2点	浅野健治
10月13日	アカショウビン	1点	木下延子
10月13日	キビタキ	1点	木下延子
10月16日	クロヨシノボリ	10点	江木寿男
10月18日	イタチ	1点	小川有一
10月13日	メジロ	1点	國忠高弘
10月18日	ツバメ (幼鳥)	1点	林 弘子
10月18日	スズメ	1点	中村雅江
10月18日	オオルリ♀	1点	山崎法子
10月18日	トラツグミ	1点	藤木精二
10月25日	スズメ	1点	原田 愛
10月25日	キツネ	1点	原田 愛
10月25日	カワウ	1点	原田 愛
11月29日	マダラヒメグモ	1点	竹吉栄太
12月4日	ハイタカ	1点	宮本純男
12月13日	外国産動物標本	13点	戸田眞左子
12月18日	タヌキ	1点	山崎法子
12月22日	オジロワシはく製	1点	幡中青児
12月27日	ヤマドリ	1点	黒岡 誠
1月6日	ヒトハリザトウムシ	5点	鶴崎展巨
1月10日	アオバト	1点	近江 勲
1月18日	ヒミズ	1点	小橋理絵子
1月29日	ヤマドリ	1点	河邊誠一郎
1月30日	ツグミ	1点	景山結花
2月13日	瀬戸内海産貝類ほか	約300点	重光義彦
2月19日	キジバト	1点	石井玉江
3月27日	キジバト	1点	石井玉江
3月27日	ヌートリア	1点	山崎法子
3月27日	テン	1点	山崎法子

2月8日	ヒヨドリ	1点	榊原久美子
3月1日	シロハラ	1点	山崎法子
3月1日	ニホンオオカミ	1点	永井群子

2 寄託

3月27日 畠田和一貝類コレクション  
約24,000点 鏡野町町長 山崎親男

3 館員による採集

(1) 植物分野 (無記名は狩山俊悟採集)	計2点
5月13日 倉敷市曾原	1点
7月3日 美作市巨勢	1点
(2) 昆虫分野 (無記名は奥島雄一採集)	計365点
5月31日～6月1日 島根県吉賀町	206点
6月10日 笠岡市六島	57点
6月27日 和気町田賀	7点
7月3日 美作市巨勢大山	12点
7月14日 総社市中央	1点
8月5日 総社市美袋～宇山	29点
10月18日 高梁市有漢町有漢	16点
10月21日 高梁市有漢町有漢	13点
11月21日 瀬戸内市邑久町豊原	9点
11月25日 瀬戸内市邑久町豊原	6点
11月27日 早島町矢尾	1点
12月9日 早島町矢尾	8点

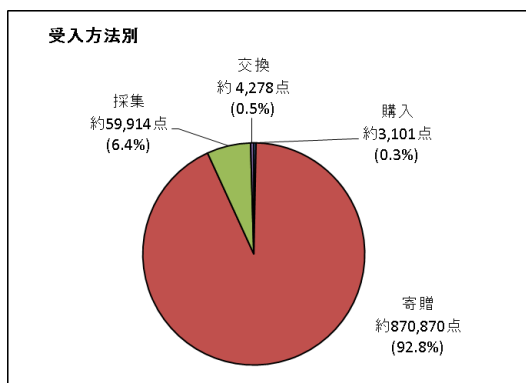
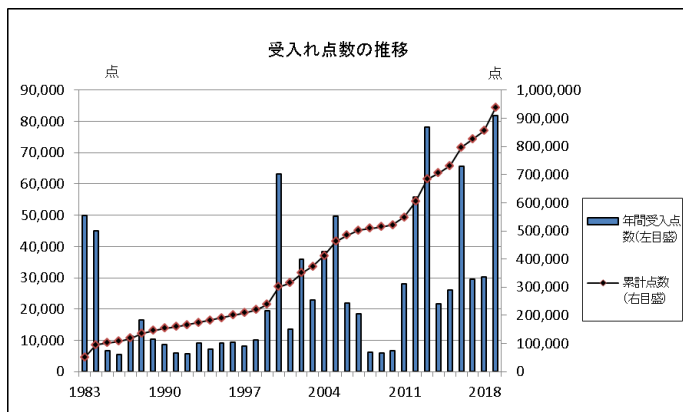
【平成28年度訂正分】

(※館報26掲載のデータが誤っていたため以下の通り訂正します)

(4) 動物分野 (19件計約10,024点)

4月13日	コマドリ剥製ほか	2点	木下延子
7月20日	スズメ	1点	木村浩子
7月22日	アオゲラ	1点	守安 敦
9月1日	アカショウビン	1点	雪江祥貴
9月8日	アナグマ	1点	山崎法子
9月8日	シロマダラ	1点	山崎法子
9月8日	キビタキほか	2点	黒田聖子
9月27日	トウキョウヒラマキガイ	1点	木下延子
9月28日	シュレーゲルアオガエル	1点	安本 学
11月16日	スズメ	1点	江田伸司
11月16日	ハシビロガモほか	2点	山崎法子
11月16日	フクロウ	1点	越山洋三
11月27日	ニホンリス	1点	小見山節夫
11月30日	ゴジュウカラほか	4点	藤木精二
12月16日	ハクビシン	1点	太田日出明
12月22日	動物標本	約10,000点	佐藤國康

4 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳



年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,707	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 1,054	約 9,002	約 45,659	約 26,187	約 81,902	約 938,163
合計	約 9,418	約 293,976	約 533,518	約 101,251	約 938,163	

## 5 二次資料

### (1) 寄贈者、交換先(敬称略, 入力完了分のみ)

〔個人〕稲神邦代, 漆谷光名, 大屋厚夫, 奥島雄一, 狩山俊悟, 木村繁之, 小島裕子, 高田順, 塚腰実, 富山明子, 林巍, 間野隆裕, 馬淵智生.

〔機関, 団体〕浦幌町立博物館, 釧路市立博物館, 帯広百年記念館, 北海道博物館, 苫小牧市美術博物館, 苫小牧市美術館, ひがし大雪自然館, 北海道大学大学院水産科学研究院, 根室市歴史と自然の資料館, 利尻町立博物館, 三笠市立博物館, 美幌博物館, 美幌町郷土史研究会, 北方山草会, 青森県立郷土館, 岩手県立博物館, 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団, 秋田県立博物館, 秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館, 米沢市教育委員会文化課, 米沢市上杉博物館, 森林総合研究所, 那須平成の森フィールドセンター, ぐんま昆虫の森, 群馬県立博物館友の会, 群馬県立自然史博物館, 下仁田町自然史館研究報告編集委員会, 下仁田町自然史館, 栃木県立博物館, 那須塩原市那須野が原博物館, 埼玉県立川の博物館, 埼玉県立自然の博物館, 川口市立科学館, 山階鳥類研究所, 千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム, 千葉県立中央博物館, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 市立市川自然博物館, 我孫子市鳥の博物館, 日本博物館協会, 科学技術振興機構, 国立科学博物館, 国立科学博物館附属自然教育園, 独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館, 府中市郷土の森博物館, 環境再生保全機構, 東京大学総合研究博物館, 日本鳥類保護連盟, 日本鯨類研究所, 全国科学博物館協議会,

全国科学博物館振興財団, 世界自然保護基金日本委員会, 地学団体研究会, 国立極地研究所, 日本野鳥の会, 日本昆虫協会, 全国農村教育協会, 目黒寄生虫館, 徳間書店児童書編集部, 数研出版, JT生命誌研究館, 日本チョウ類保全協会, ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 平塚市博物館, 川崎市青少年科学館, 日本大学生物資源科学部博物館, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 神奈川県植物誌調査会, 農林水産省横浜植物防疫所, 埼玉県川の博物館, 観音崎自然博物館, 環境省自然環境局生物多様性センター, 伊那谷自然友の会, 大町山岳博物館, 長野市立博物館, 茅野市八ヶ岳総合博物館, 飯田市美術博物館, 野尻湖ナウマンゾウ博物館, 長岡市立科学博物館, 富山県中央植物園, 富山県科学博物館, 岐阜県博物館, 自然共生研究センター, 石川県白山自然保護センター, のと海洋ふれあいセンター, 石川県ふれあい昆虫館, 福井県自然保護センター, 福井市自然史博物館, 福井県立恐竜博物館, 瑞浪市化石博物館, 熱帯動植物友の会, 東海大学海洋科学部博物館 東海大学海洋学部博物館編集委員会, 東海大学理学部, 東海大学海洋学部博物館, 東海大学社会教育センター, 沼津市歴史民俗資料館, NPO静岡県自然史博物館ネットワーク, ふじのくに地球環境史ミュージアム, 静岡県自然保護協会, 熱川バナナ・ワニ園, 豊田市矢作川研究所, 名古屋市環境局なごや生物多様性センター, なごや生物多様性保全活動協議会, 新城市鳳来寺山自然科学博物館, 豊橋市自然史博物館, 三重県総合博物館, 三重大学博学連携推進室, 三重自然誌の会, 三重貝なかま, 藤原岳自然科学館, 鳥羽水族館, 日本地学研究会, 関西菌類談話会, 茶道資料館, 亀岡植物誌研究会, 大阪市立自然史博物館, 関西自然保護機構, 大阪府営箕面公園昆虫館, 大阪自然史センター, きしわだ自然資料館, 高槻市立自然博物館, あくあびあ芥川共同活動体, 伊丹市昆虫館友の会, 伊丹市昆虫館, 姫路科学館, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫陸水生物研究会, 神戸女子大学, 神戸市立須磨海浜水族園, 近畿植物同好会, 農林水産省神戸植物防疫所, 和歌山県立自然博物館, 氷ノ山自然ふれあい館響の森, 鳥取県立博物館, 鳥取昆虫同好会, 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団, 三瓶フィールドミュージアム財団, 公益財団法人ホシザキグリーン財団, 島根県立宍道湖自然館ゴビウス, 島根県立博物館, 山陰むしの会, 岡山の自然を守る会, 倉敷昆虫同好会, 阿智神社社務所, 倉敷市市史編さん室, 岡山県郷土文化財団, 岡山市立オリエント美術館, 岡山県古代吉備文化財センター, 岡山県自然保護センター, 岡山理科大学自然植物園, 岡山淡水魚研究会, 岡山県博物館協議会, 岡山県立美術館, 岡山県立博物館, 岡山県立記録資料館, 岡山県環境保全事業団, 岡山市立半田山植物園, 岡山市立西大寺公民館, 岡山市保健福祉局福祉援護課岡山空襲展示室, 岡山理科大学自然科学研究所, 岡山コケの会, 岡山昆虫談話会, 岡山大学文学部, 日本野鳥の会岡山県支部, 日本鱗翅学会中国支部, 津山市教育委員会生涯学習部文化課津山弥生の里文化センター, 三原市教育委員会, 林原自然科学博物館, 大國家, 岡山県農林水産センター, 岡山県環境保健センター, 倉敷市立自然史博物館友の会, 倉敷市立自然史博物館, 高梁川流

域連盟, 広島大学総合博物館, 広島市植物公園, 比婆科学教育振興会, 中国電力(株)エネルギー総合研究所, 庄原市立比和自然科学博物館, 萩博物館, 山口県立山口博物館, 豊田ホテルの里ミュージアム, 下関市教育委員会豊田教育支所, 美祢市歴史民俗資料館, 秋吉台科学博物館, 徳島県立博物館, 香川県立ミュージアム, 香川大学教育学部生物学教室, 日本昆虫分類学会, 面河山岳博物館, 高知県越知町立横倉山自然の森博物館, 高知県牧野記念財団, 森林総合研究所四国支所, 九州大学総合研究博物館, 北九州市立自然史博物館, 北九州市立自然史・歴史博物館, 宮崎県総合博物館, 佐賀自然史研究会, 鹿児島県立博物館, Korea National Arboretum, Staatliches Museum für Naturkunde Stuttgart, Museum Education Roundtable, Thailand Natural History Museum, Deutsches Entomologisches Institut.

- (2) 寄贈 (入力完了分のみ)  
単行書: 502冊, 雑誌: 540冊
- (3) 交換 (入力完了分のみ)  
単行書: 51冊, 雑誌: 456冊
- (4) 購入  
[備品] 単行書: 3冊  
[消耗品] 単行書: 19冊, 雑誌: 58冊

## 6 登録済み資料点数 (平成31年3月31日現在)

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| (1) 地学   | 計8,465点 (内30年度1,008点)   |
| 鉱物       | 2,403点 (内30年度 0点)       |
| 岩石       | 1,561点 (内30年度 0点)       |
| 化石       | 4,501点 (内30年度1,008点)    |
| (2) 植物   | 計236,160点 (内30年度4,147点) |
| 維管束植物    | 236,160点 (内30年度4,147点)  |
| (3) 昆虫   | 計213,831点 (内30年度9,167点) |
| 日本産昆虫類   | 172,432点 (内30年度8,967点)  |
| 外国産昆虫類   | 41,399点 (内30年度 200点)    |
| (4) 動物   | 計 27,499点 (内30年度 22点)   |
| 無脊椎動物    | 11,750点 (内30年度 16点)     |
| 哺乳類      | 82点 (内30年度 1点)          |
| 鳥類       | 167点 (内30年度 2点)         |
| 両生類・爬虫類  | 371点 (内30年度 0点)         |
| 魚類       | 15,059点 (内30年度 0点)      |
| その他      | 70点 (内30年度 3点)          |
| (5) 二次資料 |                         |
| 図書       | 12,506冊 (内30年度 604点)    |
| 逐次刊行物    | 35,946冊 (内30年度 1,128点)  |

## 7 標本整理ボランティアの活動

- (1) 植物分野  
標本マウント・データ入力: 高林民雄, 松田恵子, 入江和喜, 難波知佳子, 若林保子, 川上節子, 浅野仁美, 大江宏 (敬称略). 延べ198回.  
タンポポ調査データ整理: 入江和喜 (敬称略). 延べ2回.
- (2) 昆虫分野  
岡野貴司, 斉藤陽一, 佐々木良一, 宮原康則, 山地治 (敬称略). 延べ180回.
- (3) 動物分野  
小橋理絵子, 後藤颯太, 山崎法子, 山野ひとみ (敬称略). 延べ72回.
- (4) 脊椎動物グループ  
事業の概要: 駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により, ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み, スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示, 普及活動で活用し, 博物館活動の輪を一般市民に広げる。  
加えて, 平成30年度は, 平成30年度全国科学博物館活動等助成事業 (全国科学博物館振興財団) に採択された「損傷剥製の修復技術習得のための実践的研究」を主体的に実施した。その成果は, 倉敷市立自然史博物館研究報告第34号に報告した (奥島雄一・相川稔・原田愛・大山望実・江川達也・大山高宏, 鳥類剥製の修復技術に関する実践的研究. 33-46)。延べ875回。

## 8 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し, 博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた (予約制)。植物10回, 昆虫36回。

## 9 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動, お宝探検除く)

地学4件, 植物51件, 昆虫155件, 動物3件, 二次資料12件。

## 10 収蔵資料を活用した業績 (使用後, 当館へ寄贈されたものも含む)

- (1) 植物分野 (10件)  
鳴橋直弘. ユリ科バイモ属コバイモ類の色変わり6新品種. 植物研究雑誌, 93(2): 132-135. (4月20日)  
松本哲也・佐藤信也・邑田 仁. 岡山県新産のホソバテンナンショウとミヤママムシグサ (サトイモ科). 植物研究雑誌, 93(2): 143-146. (4月20日)  
地職 恵. 「マツバラ」発見…忘備録. しぜんしくらしき, (105): 2. (6月1日)  
裾分由美子. 倉敷市木見の住心院のアズマツメクサ. しぜんしくらしき, (106): 9. (9月1日)  
小橋理絵子. 岡山県新産の帰化植物チゴフウロの記録.



しぜんしくらしき, (106): 10. (9月1日)

藤井伸二. 寄主植物を用いたマメダオシ(ヒルガオ科)の生育環境の推定. 植物地理・分類研究, 66(2): 177-184. (12月3日)

岡本泰典・岡本東美・狩山俊悟. 岡山県初記録のヒナノシヤクジョウ. しぜんしくらしき, (108): 11-12. (3月1日)

支倉千賀子・片山 久・狩山俊悟・池田 博. 倉敷市立自然史博物館(KURA)で見いだされたカンサイザサ *Sasa unoi* Makino (イネ科) のタイプ標本. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 29-31. (3月25日)

狩山俊悟. 岡山県植物誌資料(18) 岡山県のトベラ科. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 47-50. (3月25日)

狩山俊悟. 岡山県植物誌資料(19) 岡山県のマチン科. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 51-55. (3月25日)

## (2) 昆虫分野 (15件)

水元誠・吉澤聡史, 岡山市中区龍ノ口山で採集された双翅目昆虫の記録. はなあぶ, (45): 69-73. (4月)

Takahashi, N., & E. Yamamoto, New distribution records for two soldier beetles (Coleoptera, Cantharidae), from Shikoku, southwestern Japan. Elytra, New Series, 8: 157-158. (6月25日)

小橋理絵子, 岡山県に侵入したクスベニヒラタカミカメ. しぜんしくらしき, (106): 11. (9月1日)

末長晴輝・山地治, 岡山県におけるアヤスジミゾドロムシの採集記録. さやばねニューシリーズ, (31): 39-40. (9月30日)

Geiser, M., 2018. Studies on Prionoceridae (Coleoptera, Cleroidea). VII. Three new species and new faunistic records in *Prionocerus* Perty, 1831. Entomologische Blätter und Coleoptera, 114: 167-189. (11月)

Hsiao, Y., Y. Okushima, N. Takahashi & F.-S. Hu, 2018. A taxonomic review of the *Micropodabrus* Pic, 1920 of Taiwan, with a checklist of the world fauna (Coleoptera, Cantharidae). Entomologische Blätter und Coleoptera, 114: 237-245. (11月)

山本卓・奥島雄一, 岡山県におけるオオシラホシハゴロモの記録. 月刊むし, (574): 4-5. (12月1日)

奥島雄一, 倉敷市で飼育されていた雌雄型のカブトムシ. しぜんしくらしき, (107): 3-4. (12月1日)

小橋理絵子, 竹箒に付着していたムネアカハラビロカマキリの卵囊. しぜんしくらしき, (107): 15. (12月1日)

矢口芽生, 新見市におけるホシアシトハバチの記録. しぜんしくらしき, (108): 2. (3月1日)

加藤学・雪江祥貴・大森繁, 「津黒いきものふれあいの里」で3度目となるチャイロスズメバチの営巣事例と生態記録. しぜんしくらしき, (108): 3-5. (3月1日)

千田喜博, 岡山県におけるヌルデシロアブラムシの追加記録. しぜんしくらしき, (108): 6. (3月1日)

岡本泰典・尾上元規, 古墳の石室内でアブラムシが羽化. しぜんしくらしき, (108): 10. (3月1日)

千田喜博, コケシタムシの瀬戸内海島嶼からの記録. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 59-61. (3月25日)

小橋理絵子・岡本忠, ウスグモスズの採集記録. すずむし, (154): 4. (3月31日)

## (3) 動物分野 (4件)

山野ひとみ・江田伸司, 倉敷市立自然史博物館に所蔵されている淡水魚類標本. 日本魚類学会 2018 年年会講演要旨, 93. (10月6日)

藤林真・奥島雄一・亀崎直樹, 倉敷市立自然史博物館に収蔵されているウミガメ剥製. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 25-28. (3月25日)

奥島雄一・相川稔・原田愛・大山望実・江川達也・大山高広, 鳥類剥製の修復技術に関する実践的研究. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 33-46. (3月25日)

岩井賢一, ミズラモグラの岡山県南部からの記録. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (34): 57-57. (3月25日)

## 11 収蔵庫の充実

スチール書架上下1組(脊椎動物グループ用に購入).

## 12 収蔵庫の燻蒸

場所: 第一収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)

期間: 6月24日~26日(臨時休館日: 6月26日)

# II. 調査研究事業

## 1 機関研究

### (1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究(調査日)

[地学分野: 武智泰史] 10月21日, 11月25日, 12月9日

[植物分野: 狩山俊悟] 5月27日, 6月3日, 7月3日, 10月18日, 21日, 10月18日, 21日, 11月21日, 25日, 27日.

[昆虫分野：奥島雄一] 4月22日，6月10日，27日，7月3日，8月5日，10月18日，21日，11月21日，25日，27日，12月9日，1月27日。

[動物分野：江田伸司] 4月7日，22日，5月6日，13日，6月26日，28日，7月3日，10日，9月26日，27日，10月5日，18日，21日，30日，11月21日，25日，27日，12月9日。

(2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究（調査日）

[植物分野：狩山俊悟] 4月14日，5月11日，13日，6月23日，11月10日，1月26日，2月9日。

[昆虫分野：奥島雄一] 4月14日，2月9日。

[動物分野：江田伸司] 4月2日，8月10日，10月10日，12月2日。

## 2 分野別研究テーマ

(1) 地学：武智泰史  
地質鉱物の研究。

(2) 植物：狩山俊悟  
ア 岡山県産植物の分類，地理学的研究。  
イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究。  
ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援。  
エ 岡山県高梁市の植物相調査。

(3) 昆虫：奥島雄一  
ア 岡山県の昆虫調査。  
イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究。  
ウ 自然史資料の収集と活用について。

(4) 動物：江田伸司  
岡山県の動物調査研究。

## 3 研究業績などの公表

- (1) 博物館講座「学芸員研究紹介」  
「岡山県の化石について」演者：武智泰史 1月6日 24名。  
「山陽地方に分布する植物」演者：狩山俊悟 2月24日 25名。  
「岡山県の野鳥について」演者：江田伸司 3月9日 10名。  
「戦争を生き抜いた文献と標本—岡山の昆虫について—」演者：奥島雄一 3月21日 102名。

(2) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第34号，3月25日，550部発行，A4判，61ページ，モノクロ，寄贈交換先へ配布するほか，1部1,070円(税込)で有料頒布。収録報文(\*は館外研究者)

[論文]

三宅誠治\*，岡山県に於けるヒサマツミドリシジミの生息状況。1-24。

藤林 真\*・奥島雄一・亀崎直樹\*，倉敷市立自然史博物館に収蔵されているウミガメ剥製。25-28。

支倉千賀子\*・片山 久\*・狩山俊悟・池田 博\*，倉敷市立自然史博物館(KURA)で見いだされたカンサイザサ *Sasa unoi* Makino (イネ科) のタイプ標本。29-31。

奥島雄一・相川 稔\*・原田 愛\*・大山望実\*・江川達也\*・大山高宏\*，鳥類剥製の修復技術に関する実践的研究。33-46。

[ノート]

狩山俊悟，岡山県植物誌資料(18) 岡山県のトベラ科。47-50。

狩山俊悟，岡山県植物誌資料(19) 岡山県のマチン科。51-55。

[短報]

岩井賢一\*，ミズラモグラの岡山県南部からの記録。57-58。

千田喜博\*，コケシタムシの瀬戸内海島嶼からの記録(シロアリモドキ目，シロアリモドキ科)。59-61。

(3) 当館以外の刊行物への寄稿(105件)

- ア 武智泰史：地学担当(4件)  
岩絵の具，自然のおはなし。山陽新聞。(5月13日)  
翡翠，自然のおはなし。山陽新聞。(9月9日)  
山宝鉱山(高梁市)，自然のおはなし。山陽新聞。(1月13日)  
「早島町ふれあいの森公園」の自然。しぜんしくらしき，(108)：18。(3月1日)

- イ 狩山俊悟：植物担当(33件)  
第277回シダ観察会—矢掛町—(2018年2月13日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(316)：3。(4月14日)

情報検索用パソコン「岡山県植物図鑑」を更新。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(316)：8。(4月14日)

ミニ展示「岡山県と韓国の両方に分布する植物」。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(316)：8。(4月14日)

第278回シダ観察会—備前市(旧備前市)—(2018年3月24日) 報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(317)：9。(5月12日)

岡山県のイシカグマ。しぜんしくらしき，(105)：11。(6月1日)

ヒマラヤスギの年成長。しぜんしくらしき，(105)：12。(6月1日)

岡山県の植物に関連した文献紹介。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(318)：12。(6月9日)

寄付御礼。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(318)：12。(6月9日)

職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(318)：14。(6月9日)

第279回シダ観察会—吉備中央町（旧賀陽町）—  
（2018年4月21日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (318): 8. (6月9日)

総検行山で樹木の再調査. 倉敷市立自然史博物館友  
の会ニュース, (318): 9. (6月9日)

第280回シダ観察会—真庭市（旧久世町）—（2018  
年5月19日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (319): 8. (7月14日)

第281回シダ観察会—美作市（旧作東町）—（2018  
年6月11日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (320): 4. (8月11日)

岡山県立森林公園で見られた温帯性植物. しぜんし  
くらしき, (106): 17. (9月1日)

職場体験を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (322): 6. 20181013 (10月13日)

岡山県の絶滅植物, 過去50年間, 確かな生育情報な  
し, 自然のおはなし. 山陽新聞（さん太タイムズ）.  
(10月14日)

身近な植物たち(8) ナズナ. 倉敷の自然, (105):  
38. (10月31日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (323): 12. (11月10日)

平成31年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物  
館友の会ニュース, (324): 15. 20181208 (12月8日)  
新入会員募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(324): 15. (12月8日)

第285回シダ観察会—真庭市（旧美甘村）—（2018  
年10月20日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (324): 5. (12月8日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (324): 8. (12月8日)

平成31年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物  
館友の会ニュース, (325): 12. (1月12日)

第286回シダ観察会—美作市（旧英田町）—（2018  
年11月19日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (325): 4. (1月12日)

第287回シダ観察会—（旧和気町）—（2018年12月  
15日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(326): 2. (2月9日)

タンポポ調査グループ情報201902. 倉敷市立自然史  
博物館友の会ニュース, (326): 4. (2月9日)

共著（岡本泰典・岡本東美・狩山俊悟）, 岡山県初  
記録のヒナノジャクジョウ. しぜんしくらしき,  
(108): 11-12. (3月1日)

31年度会費納入のお願い. 倉敷市立自然史博物館友  
の会ニュース, (326): 8. (2月9日)

31年度会員証を同封しています. 倉敷市立自然史博物  
館友の会ニュース, (327): 1. (3月9日)

第288回シダ観察会—釜島（倉敷市下津井）—（2019  
年1月28日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (327): 4. (3月9日)

タンポポ調査グループ情報. 倉敷市立自然史博物館  
友の会ニュース, (327): 6. (3月9日)

「タンポポ調査・西日本2020」に参加しませんか.  
倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (327): 8-9.  
(3月9日)

身近な植物たち(9) ハハコグサ. 倉敷の自然,  
(106): 30. (3月31日)

#### ウ 奥島雄一：昆虫担当（65件）

共著：原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘  
いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(316): 4-5. (4月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (316): 5. (4月14日)

ケブカマルクビカミキリ. 自然のおはなし, 119,  
山陽新聞（さん太タイムズ）, (48470): 12. (4月  
22日)

共著：原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘  
いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(317): 10. (5月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (317): 10. (5月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー  
ース, (317): 12. (5月12日)

むしむし探検隊入隊説明会とオリエンテーションの  
報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (317):  
12. (5月12日)

〈予告〉博物館講座「昆虫の採集方法と標本の作り  
方」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (317):  
13. (5月12日)

ヤスマツトビナナフシを発見. しぜんしくらしき,  
(105): 8. (6月1日)

小さなセンチコガネを採集. しぜんしくらしき,  
(105): 9. (6月1日)

編集後記. しぜんしくらしき, (105): 15. (6月1  
日)

共著：原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘  
いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(318): 10. (6月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (318): 10. (6月9日)

「自然と標本のGWスペシャル」の報告とお礼. 倉  
敷市立自然史博物館友の会ニュース, (318): 12. (6  
月9日)

クロゴキブリ. 自然のおはなし, 122, 山陽新聞（さ  
ん太タイムズ）, (486545): 7. (7月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の  
会ニュース, (319): 9. (7月14日)

共著：原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘  
いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,  
(319): 9-10. (7月14日)

小学校等への昆虫標本の貸出しのご案内. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (319): 13. (7月14日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (320): 5. (8月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (320): 5. (8月11日)

ミニ水族館の新顔. 敷市立自然史博物館友の会ニュース, (320): 8. (8月11日)

小学校高学年及び中高生を対象とした教育プログラム「むしむし探検隊」の実施概要と成果. 日本昆虫学会第78回大会講演要旨集, p.96. 日本昆虫学会第78回大会事務局, 名古屋. (8月13日)

ヤマトシジミの産卵. しぜんしくらしき, (106): 12. (9月1日)

ヤマカガシを観察. しぜんしくらしき, (106): 19. (9月1日)

シロマダラを観察. しぜんしくらしき, (106): 19. (9月1日)

モリチャバネゴキブリ. しぜんしくらしき, (106): 20. (9月1日)

ヒラタクワガタ. しぜんしくらしき, (106): 20. (9月1日)

ナガフトヒゲナガゾウムシ. しぜんしくらしき, (106): 20. (9月1日)

キイロトラカミキリ. しぜんしくらしき, (106): 20. (9月1日)

編集後記. しぜんしくらしき, (106): 20. (9月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (321): 5. (9月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (321): 5. (9月6日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (321): 9. (9月8日)

「普及・教育の現場から」(1), 「むしむし探検隊」事業(倉敷市立自然史博物館)の取り組み. 昆虫(ニューシリーズ), 21(3): 185-196. (9月25日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (322): 5. (10月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (322): 5. (10月13日)

共著: Hsiao, Y., Y. Okushima, N. Takahashi & F.-S. Hu, 2018. A taxonomic review of the *Micropodabrus* Pic, 1920 of Taiwan, with a checklist of the world fauna (Coleoptera, Cantharidae). Entomologische Blätter und Coleoptera, 114: 237-245. (11月)

第18回「11月3日は自然史博物館まつり」速報. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (323): 1. (11月10日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (323): 7. (11月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (323): 8. (11月10日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (323): 10. (11月10日)

セスジヒトリ. 自然のおはなし, 126, 山陽新聞(さん太タイムズ), (48667): 7. (11月11日)

倉敷市立自然史博物館のおしらせ. KURAKON, 倉敷, (87): 477. (11月22日)

共著: 山本卓・奥島雄一, 岡山県におけるオオシラホシハゴロモの記録. 月刊むし, (574): 4-5. (12月1日)

西日本豪雨後に見たアオスジアゲハ. しぜんしくらしき, (107): 1. (12月1日)

倉敷市で飼育されていた雌雄型のカブトムシ. しぜんしくらしき, (107): 3-4. (12月1日)

ツクツクボウシの秋の記録. しぜんしくらしき, (107): 7. (12月1日)

編集後記. しぜんしくらしき, (107): 16. (12月1日)

博物館まつりで子どもたちに笑顔を. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (324): 1. (12月8日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (324): 6. (12月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (324): 7. (12月8日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (325): 5. (1月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (325): 6. (1月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (325): 8. (1月12日)

共著: 原田愛・奥島雄一, お誘いと活動報告(脊椎動物グループ情報). 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (326): 3. (2月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (326): 4. (2月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (326): 6. (2月9日)

編集後記. しぜんしくらしき, (108): 20. (3月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (327): 5. (3月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (327): 7. (3月9日)

シロアリ. 自然のおはなし, 130, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (48781): 7. (3月10日)

共著: 岡山県野生動植物調査検討会編, 岡山県野生生物目録 2019 ver. 1.0. 岡山県環境文化庁自然環境課 (www.pref.okayama.jp/page/602836.html). (3月29日)

1年間をふり返って. KURAKON, (88):484. (3月30日)

倉敷市立自然史博物館のお知らせ. KURAKON, (88):489-490. (3月30日)

西日本豪雨災害後に見た真備町のセミ. 倉敷の自然, (106): 20-22. (3月31日)

#### エ 江田伸司: 動物担当 (3件)

果たしてヤマセミとの出会いは. しぜんしくらしき, (105):11. (6月1日)

特別展「岡山の野鳥たち」. 自然のおはなし, 123, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (48579):7. (8月12日)

オオバン. 自然のおはなし, 127, 山陽新聞 (さん太タイムズ), (48694):7. (12月9日)

#### (4) 発表・講演

狩山俊悟: 植物担当 (2件)

共同 (中村剛士・鈴木武・狩山俊悟・松井宏光・安部祐史・地職恵・濱田展也・沢和浩・篠原渉・坪田博

美・森田竜義・西野貴子). 西日本を中心とした淡黄色型タンポポ属の無融合性複合体の実態 (口頭発表). 日本植物分類学会第18回大会, 首都大学東京. (3月7日)

共同 (亀山智史・井上雅仁・狩山俊悟・林蘇娟). 島根県隠岐諸島における植物フローラについて (ポスター発表). 日本植物分類学会第18回大会, 首都大学東京. (3月7~8日)

#### ウ 奥島雄一: 昆虫担当 (2件)

小学校高学年及び中高生を対象とした教育プログラム「むしむし探検隊」の実施概要と成果. 日本昆虫学会第78回大会, 名城大学 (名古屋). (9月10日)

岡山の昆虫—いちばん身近でいちばんわからない生き物—. 岡山県郷土文化財団「郷土文化講演会」, 岡山県立図書館. (1月29日)

#### 4 査読

奥島雄一: 昆虫担当 (1件)

12月28日 Zootaxa, New Zealand.

#### 5 助成研究

平成30年度全国科学博物館活動等助成事業 (全国科学博物館振興財団)

テーマ: 「損傷剥製の修復技術習得のための実践的研究」

申請者: 奥島雄一

## Ⅲ. 展示事業

### 1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子, 倉敷の化石動物.

[第1展示室: 岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史, 岡山県の地史, 岡山県の地形, ナウマンゾウ骨格模型, 倉敷市の地質と岩石, 岡山県のスカルン, 岡山県の岩石と鉱物, 倉敷周辺の平野のなりたち.

[第2展示室: 岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候, 岡山県の自然といきもの, 阿哲の石灰岩台地, 自然は変わる, ビデオコーナー.

[第3展示室: 昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ, 昆虫の歴史と分類, 色と形のふしぎ, 世界の昆虫, 昆虫の生活, 当館の昆虫コレクション, 話題の虫.

[第4展示室: 植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説, 植物のかたち, 植物のなかま, 植物の分布, 岡山県の植物, 倉敷市の植物, 暮らしの中の植物, 自由展示.

### 2 特別展

#### (1) 実施概要

標題: 第27回特別展「岡山の野鳥たち ~むかし・いま・みらい~」 (開館35周年記念事業)

会期: 平成30年7月14日 (土) ~ 9月17日 (月・祝)

会場: 特別展示室

主催: 倉敷市立自然史博物館

共催: 日本野鳥の会岡山県支部・倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料: 通常観覧料

#### (2) 展示内容

〈鳥の起源, 遺跡から出土する鳥, 池田家産物帳にみる江戸時代の岡山の鳥など〉

鳥の起源と進化、恐竜と鳥との関係は？、羽毛をもつ恐竜・羽毛恐竜の化石、鳥類最大にして地球生物史上最最大のエビオルニスの卵、大昔の遺跡から見つかる鳥や鳥の骨を使った道具、岡山藩池田家産物絵図帳にみる300年前の岡山の鳥などを紹介

〈岡山の野鳥たちの昔・今・未来〉

岡山で減っている鳥、増えている鳥、生態が変わってきた鳥など、岡山で見られるさまざまな野鳥の昔と今と未来を紹介

〈野鳥グッズコレクション〉

桐原真希氏収集の野鳥グッズコレクション、青木淳一氏収集のフクロウ置物コレクション、山崎法子氏収集の野鳥の羽コレクション、三好淳介氏制作のバードカービングなどを紹介

### (3) 図録

「岡山の野鳥たち ～むかし・いま・みらい～」

B5判58ページ, 1,100部, 2018年7月14日発行.

著者(五十音順・敬称略): 江田伸司・大塚利昭・小野行弘・川上和人・黒田聖子・小見山節夫・坂本明弘・笹田富夫・笹野聡美・多田英行・富岡直人・野嶋宏一・宮崎良久・丸山健司・森本章男・守屋年史・山崎法子・山田泰照・渡辺裕幸

イラスト: 三木國弘

編集: 江田伸司・鈴木佳織

### (4) 関連イベント

ライブ中継・クイズ「ブッポウソウ子育てのライブ中継とブッポウソウクイズ(①産卵日あてクイズ ②ふ化日あてクイズ ③巣立ち日あてクイズ)」

講演会「1億5千万年物語～鳥が恐竜なのか、恐竜が鳥なのか、それが問題だ～」(講師: 川上和人氏)

自然観察会「夏鳥との出会いを求めて」(中止)

自然観察会「ブッポウソウ観察会in鳥取」(講師: 桐原佳介氏・桐原真希氏)

自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会in岡山」(中止)

自然観察会「溜川ウォッチング夏休み特別版1～2」(講師: 多田英行氏・山崎法子氏)

講座「特別展展示解説会1～4」(講師: 山田泰照氏・多田英行氏・江田伸司)

講座「ニワトリの手羽先で骨格標本を作ろう1～2」(講師: 大山望実氏ほか)

講座「野鳥の横顔を描いてオリジナルTシャツを作ろう」(講師: 三木國弘氏)

### (5) 協力者(五十音順・敬称略)

団体: 岡山県自然保護センター・岡山大学附属図書館・笠岡市立カブトガニ博物館・倉敷市環境学習センター・倉敷市環境政策課・倉敷市情報学習センター・倉敷市歴史資料整備室・倉敷市立自然史博物館友の会・倉敷市立自然史博物館友の会脊椎動物グループ・倉敷市立中央図書館・

倉敷市立美術館・津黒いきものふれあいの里とっとりなんぶ手自然ネットワーク・日本野鳥の会岡山県支部・姫路科学館・もりまきフィールドネットワーク

個人: 青木淳一・安藤弘志・泉川拓子・入江和喜・太田和己・大山望実・岡本泰典・影山克己・川上和人・川上保・木村宏・桐原佳介・桐原真希・國方春行・黒田聖子・栗岡武史・香西宏明・合田延寿・小橋理絵子・小林健三・坂本明弘・惣路紀通・多田英行・田中国彦・坪井信澄・常定義正・土居克夫・徳重哲哉・原田愛・星川勉・丸山健司・宮彰男・宮尾諭・宮崎良久・三木國弘・三宅和子・三宅茂子・三宅康裕・村上義徳・濱孝志・雪江祥貴・山崎法子・山田哲弘・山田泰照・渡辺裕幸

(6) 会期中の観覧者数: 10,015名.



【講演会「1億5千万年物語～鳥が恐竜なのか、恐竜が鳥なのか、それが問題だ～」】

### 3 特別陳列

(1) 「第25回しぜんしくらしき賞作品展」1月14日～月1日, 特別展示室, 共催: 倉敷市立自然史博物館友の会, 出品点数34点.

(2) 「新着資料展<富山哲夫チョウ類コレクション>」4月14日～6月17日, 特別展示室, 世界のチョウ7,348点を展示.

(3) 「鳴く虫サロン」9月2日～16日, 講義室, 出品者数17名, 出品点数28ケース.

(4) 「折り紙昆虫展」9月29日～10月25日, 特別展示室, 折り紙作家, 江頭聖大氏の昆虫を題材とした折り紙作品40点以上とモデルとなった昆虫の実物標本を展示. 展示作品: 日本産: オニヤンマ/チョウトンボ/トノサマバッタ/カララバッタ/ナナフシモドキ/オオカマキリ/タガメ/マークオサムシ/ゲンゴロウ/オオクワガタ/ノコギリクワガタ/ミヤマクワガタ/ヤンバルテナガコガネ/アオカナブン/カブトムシ/ヤマトタムシ/ジョウカイボン/ゲンジボタル/ナナホシテントウ/ルリボシカミキリ/シロスジカミキリ/

ヤマトシリアゲ／トラツリアブ／アゲハ／ツマベニチ  
ョウ／サトジガバチ，外国産：サカダチコノハナナフ  
シ／オオコノハムシ／プリモスマルガタクワガタ／ギ  
ラファノコギリクワガタ／ゴライアスオオツノハナム  
グリ／レギウスオオツノハナムグリ／ゴホンヅノカブ  
ト／ケラモドキカミキリ／シボリアゲハ／オオルリア  
ゲハなど。

(5) 「第26回しぜんしくらしき賞作品展」11月10日（土）  
～12月9日（日），特別展示室，共催：倉敷市立自然  
史

博物館友の会，出品点数31点。

(6) 「新着資料展2018」12月22日～2月24日，特別展示  
室，

展示物：脊椎動物の剥製，岡山県新産・希産植物標本，  
地域植物相の証拠標本，世界で2番目に香川県で発見  
された高縄石一（Y），岡山県奈義町の1500万年前の海  
生動物の化石など。

(7) 「新着資料展＜昆虫＞」3月9日～4月7日，特別  
展示室，松下啓一チョウ類コレクション（10,002点）／國  
本尚憲昆虫コレクション（820点）を展示。

#### 4 ミニ水族館の展示（敬称略）

(1) 昆虫の水槽（追加分）

7月1日 コオイムシ，ハイイロゲンゴロウ 佐々  
木優成。

7月16日 コオイムシ（幼虫） 神田曹佑。

7月16日 ガムシ，オオコオイムシ 山本暁。

7月22日 コオイムシ 神田曹佑。

7月25日 ミズカマキリ，タイコウチ 竹本理起。

8月19日 タガメ（幼虫） 土松竜一。

10月18日 オオコオイムシ，オニヤンマ（幼虫） 奥  
島雄一。

10月21日 オオコオイムシ，マツモムシ，ヒメゲン  
ゴロウ，オニヤンマ（幼虫） 奥島雄一。

10月24日 ガムシ，クロゲンゴロウ，マツモムシ 末  
長晴輝。

11月21日 オニヤンマ（幼虫），エビ類 奥島雄一。

11月25日 オニヤンマ（幼虫），ヤマトンボ科（幼  
虫），

ヤンマ科（幼虫），エビ類 奥島雄一。

12月16日 水草，シダ植物 植松蒼。

(2) 植物（追加分）

10月26日 ササバモ，センニンモ，クロモ 館員。

11月6日 バイカモ 館員。

(3) 動物（追加分）

1月10日 ヌマムツ，アブラボテ，カワヒガイ，ド  
ジョウ 山野ひとみ。

#### 5 常設展示の更改

(1) 第3展示室「当館の昆虫コレクション」随時更新。

「話題の虫」オオスズメバチ，ケブカマルクビカミキリ，  
クロゴキブリ，セスジヒトリ，シロアリ，新種の標本，  
ミイロタテハの仲間，雌雄型のカブトムシ，アヤスジミ  
ゾドロムシ，当館最古の岡山県産昆虫標本。

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

3月2日～12月14日 「岡山県と韓国の両方に分す  
る植物」。

12月15日～3月14日 「干支（イヌ）にちなんだ植物」。

3月15日～継続 「タンポポ調査に参加しませんか」。

#### 6 生きた動植物の展示（敬称略）

1月5日～20日 春の七草の鉢植え 貝原千恵子氏。

#### 7 恐竜と季節の植物のぬり絵

(1) 恐竜：ティラノサウルス，トリケラトプス，プテラ  
ノドン

(2) 季節の植物：ゲンゲ（4月），アケビ，ミツバアケ  
ビ（5月），ナワシロイチゴ，ノイバラ（6月），ツユク  
サ（7月），メマツヨイグサ（8月），ミズアオイ（9月），  
イシミカワ・チャノキ（10月），コナラ（11月），ナルト  
リイバラ（12月），ホトケノザ・ウメ（1月），ナズナ（2  
月），オオイヌノフグリ（3月）

#### 8 自然情報掲示板の設置

1階「学習コーナー」に設置し，最新の自然の話題な  
どを紹介している。随時更新。

#### 9 倉敷まちかど博物館

財団法人自治総合センターの「平成25年度コミュニテ  
ィー助成事業」の助成を受けて，当館が所蔵する岩石，鉱  
物，化石，植物，昆虫，動物などの本物の標本を，移動可  
能な展示ユニット計60台に仕立てて，公共性の高い施設，  
または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出しし  
ている。平成30年度新規貸出実績：延べ11施設，40台（継  
続含まず，更新含む）。

設置先：倉敷市立西小学校，倉敷市立中央図書館，倉敷  
市立水島図書館，ライフパーク倉敷市民学習センター，倉  
敷市少年自然の家，倉敷市役所教育長室，倉敷児童館，児  
島児童館，倉敷昆虫館，倉敷駅前観光案内所，倉敷市観光  
休憩所。

#### 10 ボランティアの活動

(1) ミニ水族館の管理（敬称略）

倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科：山野ひと  
み，江木健人，小菌陽香，後藤颯太，西山洋行，松本夏美，  
松本真宣，三ツ井博明，延べ32名。

(2) 昆虫ボランティアガイドの活動（敬称略）

藤沢悦治, 延べ29回.

## 教育普及事業

※参加者（カッコ内は野外活動における中学生以下の人数）

- 1 **自然観察会** 参加者合計 680 (202) 名
  - 4月14日 第302回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年春」倉敷市寿町, 94(35)名
  - 5月13日 第303回自然観察会「夏鳥との出会いを求めて」岡山後楽園, 雨天中止
  - 6月3日 第304回自然観察会「中国山地の植物観察2」苫田郡鏡野町上斎原, 45(1)名
  - 6月30日 第305回自然観察会「ブッポウソウ観察会in鳥取」鳥取県南部町, 30(2)名
  - 7月8日 第306回自然観察会「おかやま自然探訪57」美作市巨勢大山, 中止
  - 7月15日 第307回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会in岡山」岡山県吉備中央町, 中止
  - 7月20日 第308回自然観察会「溜川ウォッチング夏休み特別版1」倉敷市玉島, 18(3)名
  - 7月22日 第309回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市児島小川町, 中止
  - 8月11日 第310回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年夏&セミのぬげがら調査」倉敷市寿町, 112(56)名
  - 8月17日 第311回自然観察会「溜川ウォッチング夏休み特別版2」倉敷市玉島, 17(3)名
  - 9月16日 第312回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山, 57(19)名
  - 10月21日 第313回自然観察会「おかやま自然探訪58」高梁市有漢町有漢, 41(9)名
  - 11月10日 第314回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年秋」倉敷市寿町, 70(30)名
  - 11月25日 第315回自然観察会「おかやま自然探訪59」瀬戸内市邑久町豊原, 29(1)名
  - 12月9日 第316回自然観察会「おかやま自然探訪60」岡山県都窪郡早島町矢尾, 31(3)名
  - 2月9日 第317回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年冬」倉敷市寿町, 79(29)名
  - 3月10日 第318回自然観察会「倉敷の鳥カワセミを探そう！」倉敷市亀山, 中止
  - 3月31日 第319回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山, 57(12)名
- 2 **博物館講座** 参加者合計214(0)名
  - 7月7日 「昆虫の採集方法と標本の作り方」中止
  - 7月16日 「植物の採集方法と標本の作り方」中止
  - 10月14日 「昆虫折り紙教室」 53名
  - 1月6日 「学芸員研究紹介—地学—：岡山県の化石について」 24名
  - 2月24日 「学芸員研究紹介—植物—：山陽地方に分布する植物」 25名

- 3月9日 「学芸員研究紹介—動物—」 10名
- 3月21日 「学芸員研究紹介—昆虫—：戦争を生き抜いた文献と標本—岡山の昆虫について—」 102名
- 3 **自然の標本なんでも相談会**
  - 8月19日 111名
- 4 **動物研究会**
  - 5月26日 「第8回魚類調査」浅口市金光町, 28(10)名
- 5 **むしむし探検隊** 参加者延べ264(26)名
  - 隊長：奥島雄一（館員），副隊長：岡野貴司，中野一成，磯野裕昭，加藤学，末長晴輝，池上弘季，武田寛生，武田雅生，松本光平，安達由莉，カメラマン：藤本徹哉，アシスタント：神田佐奈恵（館員），隊員（小5～高3）15名
  - 4月15日 オリエンテーション 36名
  - 6月10日 第1回探検 笠岡市六島, 23(14)名
  - 8月5日 第2回探検 総社市美袋—宇山, 18(12)名
  - 行事ボランティア活動（各自3回以上）延べ46名
  - 9月2日～30日 「しぜんしくらしき賞」作品応募 15名
  - 11月3日 自然史博物館まつり参加 24名
  - 3月21日 研究発表会 102名



【第2回探検 総社市】

- 6 **地学教室**
  - 1月20日 「サファイアの研磨」 29名
  - 2月3日 「火山灰の観察」 8名
- 7 **自然素材を使った手作り教室**
  - 毎月第2日曜日 延べ363名
- 8 **折り紙教室**
  - 毎月第4日曜日 延べ330名
- 9 **スライド映写会**
  - 12月8日 高山植物スライド会「花の百名山を訪ねて5



～苗場山，仙丈ヶ岳，石鎚山～ 38名

#### 10 昆虫標本作り体験教室（計7回，7名）

希望者（事前予約）を対象とした昆虫標本作り

8月5日 1名，8月8日 1名，8月14日 1名，9月4日  
1名，10月27日 1名，1月13日 1名，3月28日，1名

#### 11 第18回 11月3日は自然史博物館まつり

来場者数：8,825名，満足度：98.7%（n=225）

参加スタッフ：185名（博物館15，ブース等130，芸科大  
ボランティア40）

参加事業：第16回おかやま県民文化祭

日時：11月3日（土，祝），8時45分～16時

会場：倉敷市立自然史博物館，くすのき広場

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

後援：（公社）倉敷観光コンベンションビューロー

出展協力：岡山クワガタ研究会，岡山大学ギターマンド  
リンクラブ，岡山理科大学，倉敷昆虫館，倉敷市環境学習  
センター，重井薬用植物園，非営利活動法人フォレストフ  
ォーピープル岡山（五十音順）

協力：一般財団法人全国科学博物館振興財団，倉敷芸術  
科学大学，ニューロンサニター株式会社（五十音順）

[イベント・ブース]

開会式，どんぐりごま選手権，クイズラリー，自転車で  
発電！環境学習センター（倉敷市環境学習センター），い  
もむしランド（むしむし探検隊），スズメバチの巣解体シ  
ョー（むしむし探検隊），化石さがし，博物館のお宝探検  
（地学・植物・昆虫・動物），ヘラクレスドーム（岡山ク  
ワガタ研究会），虫を顕微鏡で見よう（倉敷昆虫館），出  
張・重井薬用植物園，葉拓づくり体験（非営利活動法人フ  
ォレストフーピープル岡山），喫茶コーナー，ホネホネ鑑定団  
（岡山理科大学），缶バッジ作り，あそぼう！みんなの動  
物ラボ（脊椎動物グループ），ガリガリトンボ・鳥をつく  
ろう（手作り教室），折り紙コーナー，岡山大学ギターマ  
ンドリンクラブ演奏会



【開会式】

#### 12 体験！ないと・みゅーじあむ in 自然史博物館

来場者数：1,258名，満足度84%（n=114）

日時：3月16日（土），18時～20時

会場：倉敷市立自然史博物館，くすのき広場

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

趣旨：開館35周年記念事業，第13回倉敷春宵あかり  
の協力イベントとして自然史博物館のPR活動の推進，ま  
た，美観地区とその周辺地域の観光イベントと連携するこ  
とにより，観光振興や地域共生を図り，更なる集客や顧客  
ニーズ，課題等の把握に努めるもの。

内容：「あかりで探検（消灯した館内を懐中電灯で散策  
する）」，「ブラックライトで色いろコーナー（標本等に  
ブラックライトを当てて色の不思議を体験する）」，「ギ  
ャラリートーク（新着資料展＜昆虫＞の学芸員による解  
説）」，「夜のお宝探検（収蔵庫の学芸員による解説）」，  
「キャンドルコンサート（くらしき作陽大学音楽学部）」，  
「ナイトカフェ（友の会）」等。

#### 13 出版物

[パオちゃん's EYE]

No.13「カワセミに会いたい」江田伸司（4月）

No.14「ミイロタテハの仲間」奥島雄一（5月）

No.15「情報検索用パソコン『岡山植物図鑑』」狩山俊悟  
（6月）

No.16「鉄鉱石（赤鉄鉱と磁鉄鉱）」武智泰史（7月）

No.17「特別展『岡山の野鳥たち』」江田伸司（8月）

No.18「雌雄型のカブトムシ」奥島雄一（9月）

No.19「牧野富太郎博士の手紙」狩山俊悟（10月）

No.20「トパーズ」武智泰史（11月）

No.21「きょうりゅうぬり絵をしよう」江田伸司（12月）

No.22「アヤスジミゾドロムシ」奥島雄一（1月）

No.23「タンポポ調査に参加しませんか」狩山俊悟（2月）

No.24「ろう石」武智泰史（3月）

#### 14 レファレンス

質問，同定依頼，研究協力，原稿校閲，マスコミ取材等  
への対応

地学76件，植物270件，昆虫490件，動物152件，その他  
2件（計990件）

#### 15 ガイダンス

教育普及担当職員による受付付近での館内案内

幼保・認定こども園37，小学校67，中学4，支援学校2，  
公民館等2，大学2（計114件）

#### 16 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習

総合分野：8月14～19日 鈴木悠陸（岡山理科大学），  
中島智子（九州保険福祉大学）

(2) 博物館見学実習（当館職員が対応したもの）

4月27日 岡山大学環境理工学部

43名

6月23日	岡山理科大学生物地球学部	44名
10月12日	岡山商科大学	4名
12月8日	岡山大学文学部	25名
12月9日	倉敷芸術科学大学	4名
12月19日	福山市立大学	60名

## (3) 小中高校生の実習

## [職場体験]

5月15日～17日	倉敷市立庄中学校	2名
5月22日～24日	倉敷市立多津美中学校	2名
7月4日～6日	倉敷市立真備東中学校	1名
9月12日～14日	倉敷市立新田中学校	2名
10月10日～12日	倉敷市立東中学校	2名
10月25・26・30日	岡山県立倉敷天城中学校	1名
11月13日～15日	岡山市立高松中学校	1名
11月13日～15日	倉敷市立福田中学校	1名
11月13日～15日	倉敷市立北中学校	1名
11月20日～22日	倉敷市立西中学校	2名

## [班別自主研修]

12月20日	岡山県立倉敷南高等学校	11名
1月22日	倉敷市立真備中学校	6名

## 17 講師派遣（「出前講座」含む）参加者合計1,125名（140名）

## (1) 狩山俊悟：植物担当（22回，約980（約70）名）

4月3日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」，高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部スポーツ振興課，約60(0)名。

4月22日 「自然観察会『早島の春』」，倉敷市立自然史博物館友の会，66(9)名。

5月13日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話『鷺羽山植物観察会』」，鷺羽山の景観を考える会，12(1)名。

5月13日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話『倉敷美しい森の植物観察会』」，倉敷の自然をまもる会，15(0)名。

6月13日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について（博物館資料保存論）」，倉敷芸術科学大学，50名。

6月23日 「出前講座／身近な野生植物の観察とお話」，倉敷市立短期大学，54名。

9月19日 「釜島植物調査」，鷺羽山地区パークボランティアの会，約15(0)名。

10月7日 「自然観察会『第23回シダの世界』」，倉敷市立自然史博物館友の会，18(0)名。

11月11日 「自然観察会『六甲の紅葉観察会（バス観察会）』」，倉敷市立自然史博物館友の会，37(0)名。

11月15日 「博物館資料論」，倉敷芸術科学大学，48名。

11月29日 「博物館資料論」，倉敷芸術科学大学，48名。

12月6日 「博物館資料論」，倉敷芸術科学大学，48名。

12月20日 「施設見学『キャリアⅠ 環境入門』」，岡山県立倉敷南高等学校，11名。

12月26日 「博物館資料論」，倉敷芸術科学大学，48名。

1月20日 「自然観察会『再訪・鴻島の自然』」，倉敷市立自然史博物館友の会，22(4)名。

1月26日 「鷺羽山地区パークボランティア研修会」，鷺羽山地区パークボランティアの会，約15(0)名。

2月14日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話『備中の植物』」，備中倉敷学，90(0)名。

3月5日 「森林資源学」，福山市立大学，60名。

3月6日 「森林資源学」，福山市立大学，60名。

3月7日 「森林資源学」，福山市立大学，60名。

3月8日 「森林資源学」，福山市立大学，60名。

3月30日 「平成30年度国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン『鷺羽山周辺自然散策』」，国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン実行委員会，約80(60)名。

## (2) 奥島雄一：昆虫担当（3回，145(70)名）

8月17日 「出前講座／どこでも昆虫採集」 味っ子クラブ 55(50)名。

1月27日 「初心者のための自然観察会」 「越冬昆虫大発見！」 岡山県自然保護センター 40(20)名。

1月29日 「郷土文化講座」 「岡山の昆虫」 岡山県郷土文化財団 50(0)名。

## 18 マスコミ報道（館名，氏名公表分のみ）

## (1) 倉敷市立自然史博物館（18件）

4月7日発行 山陽新聞（おかくらプラス），「まちナビ，知る・学ぶ・育む，◆新着資料展「富山哲夫チョウ類コレクション」」。

6月6日発行 山陽新聞（備後），「神石高原でテングチョウ大量発生，遊具“占拠”，観光施設など懸念」。

6月13日放映 山陽放送テレビ，「RSKイブニングニュース」，「小学生が「雌雄型のカブトムシ」みつける」。

6月19日発行 山陽新聞（おかくらプラス），さんデジ，週間アクセスランキング（10～16日），「①左右で「雌雄」別々のカブトムシ 倉敷の小6遠藤君が卵から飼育」。

6月24日発行 山陽新聞（日曜ワイド），「準絶滅危惧種アオハダトンボ，青緑色に輝く美しい羽，倉敷の守安さん撮影」。

6月29日発行 毎日新聞，「雌雄型カブトムシ見つかる，小学生兄弟が飼育」。

7月13日放映 TOKYO MX テレビ，「5時に夢中！」（カブトムシ雌雄型）。

7月26日発行 山陽新聞（倉敷・総社圏版），「西日本豪雨，臨時休館続く倉敷の生涯学習施設，来月から一部再開，夏休み子どもの居場所確保」。

8月21日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版),「昆虫や植物の名前分かった, 専門家助言, 親子ら調査, 倉敷」.

8月25日発行 リビングおかやま,「9月暮らしの歳時記」秋の風物詩を楽しむ交流の場「鳴く虫サロン」.

9月29日発行 山陽新聞(全県版),「剥製標本修復, 初の一般公開, きょうから倉敷市立自然史博物館」.

10月2日以降放映 たまテレ,「折り紙昆虫展」.

10月18日放送 山陽放送ラジオ,「あも〜れ! マッターリーノ」,「折り紙昆虫展」(神田佐奈恵).

10月19日発行 毎日新聞(岡山),「タウン・たうん」,「折り紙昆虫展」.

10月21日発行 山陽新聞(日曜ワイド),「ナナホシテントウ, ヘラクレス…倉敷で「折り紙昆虫展」, かみ技ムシできない」.

3月8日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「暗闇に輝くサソリや貝, 16日、倉敷自然史博物館初のナイトミュージアム」.

3月10日以降放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTニュース」,「新着資料展2019〈昆虫1〉」.

3月19日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「昆虫ユニーク研究, 倉敷市立自然史博物館で21日、発表会, 天城中1年2人を紹介」.

#### (2) 武智泰史: 地学担当 (7件)

5月3日発行 毎日新聞,「倉敷市立自然史博物館岡山県倉敷市 多種多様な動植物史に思い 瀬戸大橋周辺の化石1000点」.

12月21日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「1月の催し物について」

#### (3) 狩山俊悟: 植物担当 (9件)

4月15日発行 山陽新聞,「『岡山植物図鑑』が登場, 倉敷市立自然史博物館に検索システム, 県内自生の全種類収録」.

4月放送 玉島テレビ,「情報検索パソコン『岡山植物図鑑』公開」.

5月18日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「採集者番号の意義と植物標本整理」.

9月21日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「2018年の山行」.

11月1日発行 山陽新聞,「子どもと自然つなぐ, 35周年迎える倉敷市立自然史博物館, 貴重な標本資料85万点」.

11月2日発行 山陽新聞,「季節外れアケビ開花, 春と勘違い?, 総社・小原さん宅」.

1月18日放送 エフエムくらしき, 週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別陳列『新着資料展2018』」.

#### (4) 奥島雄一: 昆虫担当 (38件)

4月11日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「目指せ昆虫専門家, むしむし探検隊員募集, 倉敷・自然史博物館」.

4月24日発行 朝日新聞(岡山),「亡き歯科医のチョウ標本展, 倉敷 希少種など7348点」.

4月28日放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTニュース」,「自然と標本のGWスペシャル, 昆虫お宝探検」.

5月9日以降放映 たまテレ,「富山哲夫チョウ類コレクション展」.

5月11日放送 山陽放送ラジオ,「あも〜れ! マッターリーノ」,「富山哲夫チョウ類コレクション展」.

5月22日放送 FM岡山(FM東京),「Honda Smile Mission」,「ウスタビガ雌雄型について」.

6月5日放送 山陽放送テレビ,「RSKイブニングニュース」,「岡山県北部「テングチョウ」大量発生か」.

6月9日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「貴重なチョウ7348点初公開, 倉敷市立自然史博物館, 愛好家富山さん収集, 遺族が寄贈」.

6月13日放映 NHK(岡山), ニュース,「“両性具有”のカブトムシ! 専門家も「生きたの初めて見た」」.

6月13日放映 NHK,「ニュースウオッチ9」,「“両性具有”のカブトムシ! 専門家も「生きたの初めて見た」」.

6月13日放映 西日本放送,「RNC news every.」,「倉敷市で雌雄型のカブトムシ発見」.

6月13日放映 テレビせとうち, ニュース,「小学生がカブトムシの雌雄型を飼育」.

6月13日放映 瀬戸内海放送, ニュース,「オス? メス? 小学生が飼育したカブトムシは…珍しい「雌雄型」」.

6月13日放映 OHK,「OHKプライムニュース」,「小学生飼育のカブトムシから珍しい雌雄型」.

6月14日放送 NHKラジオ, ニュース,「倉敷市の小学生がカブトムシの雌雄型を飼育」.

6月14日発行 山陽新聞(全県版),「左半分雄, 右は雌の特徴, 珍しいカブトムシ, 遠藤君(倉敷・第一福田小6年)ら飼育」.

6月14日発行 読売新聞,「雌雄型カブトムシ, 児童発見びっくり! 倉敷の遠藤君, 自然史博物館に寄贈へ」.

6月15日公開 FNNプライムオンライン,「“左はオス 右はメス”のカブトムシ発見! 「雌雄型」は他の昆虫もいた」.

6月15日放送 エフエムくらしき,「ナウマンの小部屋」,「カブトムシの雌雄型の発見」.

6月21日発行 朝日新聞(岡山),「「雌雄型」のカブトムシ, 倉敷の小6・遠藤君飼育「びっくりした」, 自然史博物館「非常に珍しい個体」」.

6月27日発行 倉敷経済新聞,「倉敷の小学生が飼育するカブトムシにレア個体, 半分オス: 半分メスの「雌

雄型」). (<https://kurashiki.keizai.biz/haedline/916/>).

8月19日発行 山陽新聞(さん太タイムズ), 「教えて!いきもの係, すごいぜ!昆虫採集, 習性生かした方法で工夫」.

8月31日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「来月2日から「鳴く虫サロン」, 心地よい声楽しんで, 倉敷市立自然史博物館」.

9月7日放送 山陽放送ラジオ, 「あも〜れ!マッターリーノ」, 「鳴く虫サロン」.

9月16日発行 山陽新聞(さん太タイムズ), 「教えて!いきもの係, すごいぜ!昆虫観察, 調べたい内容で方法工夫」.

10月4日放映 倉敷ケーブルテレビ, 「KCTニュース」, 「折り紙昆虫展」.

10月8日放送 エフエムくらしき, 「おまかせラジオ」, 「折り紙昆虫展」.

10月10日発行 パワフルキッズ, VOL.81, 「特集 キミの名は?どんな小さな虫にも名前があるんだよ!」.

10月24日発行 山陽新聞(倉敷・総社圏版), 「職場体験「記者」になったよ!, 倉敷市立東中2年生(10,11日)」.

10月29日放送 エフエム福山, 「おはようときめきタイム, ママのアンテナ, 自然史博物館まつり」.

11月1日発行 山陽新聞(第1全県), 「子どもと自然つなぐ, 35周年迎える倉敷市立自然史博物館, 貴重な標本資料85万点」.

11月8日発行 山陽新聞(第1全県), 「南方系の昆虫ヒラズゲンセイ, 広島県内初の発見, 笠岡高2年の植松さん, 生息拡大予測探索3年」.

11月18日発行 山陽新聞(さん太タイムズ), 「読んでみよう解いてみよう, さん太のワークシート(ヒラズゲンセイ, 広島県内初の発見)」.

12月6日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「子どもの自然史研究表彰「くらしき賞」応募作品展, 植物、昆虫に興味津々, 自然史博物館, 標本と写真 意欲作31点」.

12月20日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「オジロワシ生き生き, 倉敷市立自然史博物館, 剥製修復、22日初披露」.

2月1日放送 山陽放送ラジオ, 「あも〜れ!マッターリーノ」, 「新着資料展2018」.

2月15日放送 エフエムくらしき, 「ナウマンの小部屋」, 「倉敷雛めぐりat自然史博物館, 昆虫にもおヒナさまが」.

3月5日放映 広島ホームテレビ, 「地球派宣言, 小さな発見!!」, 「発見!赤いクワガタ?」.

#### (5) 江田伸司:動物担当(4件)

4月20日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別展 岡山の野鳥たちについて」.

8月16日放送 RSKラジオ, 「特別展 岡山の野鳥たちについて」.

8月17日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「特別展 岡山の野鳥たちについて」.

11月16日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(マウマンの小部屋)「来年度の友の会のイベントについて」.

#### 19 学校用標本の貸出

化石標本セット 1件  
小学校用昆虫標本 0件

#### 20 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 880名(453組) ※平成31年3月31日現在  
個人278名, 家族596名(169組), 賛助6名(6組)

(2) 役員(\*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉. [副会長] 榊原久美子, 溝手啓子, 山崎法子, 片岡博行, 天本隆士, 古谷太一, 中田太海, 安原信一郎, 小野行弘, 狩山俊悟. [評議員] 青野孝昭, 安達由莉\*, 天本隆士, 泉川祐子\*, 磯野裕昭\*, 磯野倫広\*, 伊藤邦夫, 稲神邦代\*, 入江和喜\*, 植松志帆\*, 植松蒼\*, 江田伸司\*, 榎本敬\*, 大島宏美\*, 岡本泰典\*, 奥島雄一\*, 小澤佑二, 小野行弘, 片岡法子\*, 片岡博行, 片山久\*, 狩山俊悟, 木下延子\*, 木村浩子\*, 國忠高広\*, 古谷太一, 小橋理絵子\*, 榊原久美子, 坂本明弘\*, 坂本憲治\*, 柴田加奈\*, 島岡浩恵\*, 白神加奈子\*, 末長晴輝\*, 裾分由美子\*, 武田寛生\*, 武田雅生\*, 武智泰史\*, 中田太海, 中塚栄一\*, 中村雅江\*, 野島淑子\*, 橋本恵子\*, 橋本響\*, 橋本真由子\*, 原田愛\*, 廣瀬正明, 藤野睦子\*, 松村真佐子\*, 溝手啓子, 森下裕子\*, 安原信一郎, 山崎法子, 雪江祥貴\*, 吉岡勉.

[会計監査] 東伸彦, 守安敦.

(3) 自然観察会(\*は博物館と共催, カッコ内は中学生以下) 友の会追加分のみ計1,049(260)名.

4月14日(土)第546回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年春」\* 94(35)名.

4月22日(日)第547回「早島の春」66(9)名.

5月13日(日)第548回「夏鳥との出会いを求めて(特別展関連イベント)」\* 中止

5月20日(日)第549回「スグ観察会」18(0)名.

5月27日(日)第550回「干潟の生き物しらべ」44(18)名.

6月3日(日)第551回「中国山地の植物観察2」\*45(1)名.

6月23日(土)第552回「ナゴヤダルマガエル観察会20」37(11)名.

6月30日(土)第553回「ブッポウソウ観察会in鳥取(特別展関連イベント)」\* 30(1)名.

7月8日(日)第554回「おかやま自然探訪57」中止

7月15日(日)第555回「ブッポウソウ巣立ち観察会in岡

- 山（特別展関連イベント）」\* 中止  
 7月20日（金）第556回「溜川ウォッチング夏休み特別版1（特別展関連イベント）」\* 18(3)名。  
 7月22日（日）第557回「夏だ！昆虫採集」\* 中止  
 7月28日（土）～29日（日）第558回「宿泊観察会『神郷の自然』」中止  
 8月11日（土）第559回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年夏&セミのぬけがら調査」\* 112(56)名。  
 8月17日（金）第560回「溜川ウォッチング夏休み特別版2（特別展関連イベント）」\* 17(3)名。  
 9月16日（日）第561回「ミズアオイ観察会」\* 57(19)名。  
 10月6日（土）第562回「津黒のきのご観察会」\* 48(4)名。  
 10月7日（日）第563回「第23回シダの世界」18(0)名  
 10月21日（日）第564回「おかやま自然探訪58」\* 41(9)名。  
 11月10日（土）第565回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年秋」\* 70(30)名。  
 11月11日（日）第566回「六甲の紅葉観察（バス観察会）」37(0)名。  
 11月25日（日）第567回「おかやま自然探訪59」\* 29(1)名。  
 12月2日（日）第568回「みんなで溜川ウォッチング（共：倉敷市環境学習センター） 31(8)名。  
 12月9日（日）第569回「おかやま自然探訪60」\* 31(3)名。  
 1月20日（日）第570回「再訪、鴻島の自然」 22(4)名  
 2月3日（日）第571回「コケ観察会」 48(4)名  
 2月9日（土）第572回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2019年冬」\* 79(29)名。  
 3月10日（日）第573回「倉敷市の鳥カワセミをさがそう！」\*（共：倉敷市環境学習センター） 中止  
 3月31日（日）第574回「ミズアオイの種まき会」\* 57(12)名。
- (4) 特別展（博物館と共催）  
 7月14日～9月17日 倉敷市立自然史博物館開館35周年記念第27回特別展「岡山の野鳥たち～むかし・いま・みらい～」
- (5) 特別陳列（博物館と共催）  
 4月1日「第25回しぜんしくらしき賞作品展」  
 11月10日～12月9日「第26回しぜんしくらしき賞作品展」
- (6) 博物館講座（博物館と共催）  
 1月6日「学芸員研究紹介-地学-」  
 1月20日「地学教室 サファイアの研磨」  
 2月3日「地学教室 火山灰の観察」  
 2月24日「学芸員研究紹介-植物-」  
 3月9日「学芸員研究紹介-動物-」
- 3月21日「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」  
 (7) 自然の標本なんでも相談会（博物館と共催）  
 8月19日。  
 (8) むしむし探検隊（博物館と共催）  
 参加者延べ264名。  
 (9) 自然素材を使った手作り教室  
 毎月第2日曜日 学習コーナー（博物館と共催）延べ363名。  
 12月16日 お飾り作り 講義室 59名。  
 (10) 自然と標本のGWスペシャル（博物館と共催）  
 (11) グループ活動  
 毎週金曜日 溜川ウォッチンググループ（共：第3金曜日のみ倉敷市環境学習センター） 延べ502名  
 毎月1回 シダグループ 延べ79名  
 毎月1回 ご近所バードウォッチンググループ 延べ108名  
 毎月1回 倉敷みらい公園バードウォッチング（共催：倉敷市環境学習センター） 延べ94名  
 随時 岡山県植物誌研究会 登録者37名  
 随時 脊椎動物グループ 延べ418名  
 随時 昆虫グループ（展示+標本整理） 延べ209名  
 (12) 第26回「しぜんしくらしき賞」（博物館と共催）  
 9月2日～9月30日 募集期間 応募総数31点  
 10月18日 審査会  
 11月18日（表彰式）  
 11月10日～12月9日 作品展開催  
 (13) 平成31年度会員証デザインコンテスト  
 10月13日～12月1日 募集期間（10名、21点）  
 12月8日 審査（採用：「青い空にミズアオイ」片岡博行）  
 (14) 自然史博物館まつり（博物館と共催）  
 11月3日。  
 (15) 会報「しぜんしくらしき」発行  
 6月1日 105号、9月1日 106号、12月1日 107号、3月1日 108号。  
 (16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行  
 4月14日 316号、5月12日 317号、6月9日 318号、7月14日 319号、8月11日 320号、9月8日 321号、10月13日 322号、11月10日 323号、12月8日 324号、1月12日 325号、2月10日 326号、3

月9日 327号.

(17) 総会の開催  
4月22日.

(18) 幹事会の開催  
4月14日, 5月12日, 6月9日, 7月14日, 8月11日, 9月8日, 10月13日, 11月10日, 12月8日, 1

月12日, 2月10日, 3月9日.

(19) あっせん  
図書, 自然観察用品, 昆虫器具等.

(20) その他  
ホームページ, メーリングリスト, Facebookの管理, 運営.

## V. 庶務

### 1 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会(13名)設置  
昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より, 倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで, 積極的に取り組む必要がある」との答申が出される  
昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会(13名)設置  
昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが, 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定  
昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者(4名)に委託  
昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定  
昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定  
昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館  
平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足  
平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成  
平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館  
平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成  
平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成  
平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成  
平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成  
平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し, 倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

### 2 各室現有面積(単位: m<sup>2</sup>) 現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室(969.48)  
エントランスホール 118.16  
常設展示室(第1展示室) 200.09  
常設展示室(第2展示室) 256.83  
常設展示室(第3展示室) 169.28  
常設展示室(第4展示室) 155.16  
特別展示室 69.96  
(2) 調査研究(184.24)  
研究室 115.48

工作室 45.56  
写真室 11.85  
暗室 11.35

(3) 収蔵庫(488.87)  
第1収蔵庫(動物, 植物) 169.83  
第2収蔵庫(地学) 62.25  
液浸標本収蔵庫 18.69  
図書文献室 47.30  
大高仮収蔵庫(敷地面積708.10) 190.80  
仮収蔵スペース(市内小学校教室2部屋, 市内中学校教室2部屋)

(4) 教育普及(157.98)  
学習コーナー 47.71  
ミニ水族館 14.37  
講義室 95.90

(5) 庶務(182.11)  
連絡室 35.88  
事務室 57.59  
会議室 55.45  
倉庫 33.19

(6) 機械設備(281.59)  
機械室(地階) 180.86  
機械室(収蔵庫用空調設備) 19.86  
機械室(屋階) 53.66  
ボイラー室 20.25  
エレベーター機械室 6.96

(7) その他(998.81)  
車庫 206.92  
便所, 廊下等 791.89

### 3 組織

(1) 職員(平成31年3月31日現在)  
館長 小野行弘(総括)  
主幹・学芸員 江田伸司(動物)  
主任・学芸員 奥島雄一(昆虫)

主任・学芸員 武智泰史（地学）  
 学芸員 狩山俊悟（植物）  
 副主任 石井陽子（庶務，経理，教育普及）  
 嘱託 神田佐奈恵（昆虫学芸補助）  
 嘱託 辻弘美（植物学芸補助）  
 嘱託 小田敦子（受付，教育普及，広報）  
 嘱託 鈴木佳織（受付，教育普及，庶務）  
 嘱託 赤星 浩（受付，図書・雑誌登録）  
 臨時 山根百佳（受付，土日）  
 臨時 平松 頼（受付，土日）  
 臨時 野田昌裕（受付，土日）  
 臨時 鈴木那加（植物学芸補助，土日）  
 臨時 松本光平（昆虫学芸補助，土日）

## (2) 職員の異動

3月31日退任 館長 小野行弘  
 3月31日退任 臨時 山根百佳  
 3月31日退任 臨時 平松 頼  
 3月31日退任 臨時 野田昌裕  
 3月31日退任 臨時 鈴木那加

## (3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員（平成31年3月31日現在）

[任期：平成29年12月1日～令和元年11月30日]

鴨井香織 倉敷市立自然史博物館友の会会員  
 小橋理絵子 倉敷市立自然史博物館友の会評議員  
 小林祥一 岡山理科大学教授  
 西田恵介 倉敷市立下津井中学校長  
 島岡浩恵 倉敷市立自然史博物館友の会評議員  
 高木盛雄 倉敷市立赤崎小学校長  
 田口明子 倉敷市議会文教委員会委員  
 地職恵 岡山県自然保護センター自然保護指導員  
 堀江明香 元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師  
 三宅誠治 日本鱗翅学会会員

(敬称略，五十音順)

## (4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催

9月5日.

## 4 委員，役員委嘱

### (1) 小野行弘：館長

4月22日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」  
 倉敷市立自然史博物館友の会.

4月22日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」  
 倉敷市立自然史博物館友の会.

4月1日～ 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市.

4月1日～ 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.

### (2) 武智泰史：地学担当

4月22日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」  
 倉敷市立自然史博物館友の会.

4月22日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

2月5日～令和2年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

### (3) 狩山俊悟：植物担当

27年7月1日～30年6月30日，30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」環境省自然保護局野生生物課.

28年4月24日～30年4月21日，30年4月21日～令和2年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月24日～30年4月21日，30年4月21日～令和2年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年7月16日～令和元年7月15日 「岡山県指定希少野生動植物保護巡視員（ミズアオイ）」岡山県環境文化庁自然環境課.

29年4月1日～31年3月31日 「備前市歴史文化基本構想策定委員」 備前市教育委員会.

29年4月1日～31年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会.

30年2月5日～令和2年2月 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

30年2月5日～令和2年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化庁自然環境課.

30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会副部会長」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

31年2月26日～31年3月1日 「非常勤講師（森林資源学）」 福山市立大学.

### (4) 奥島雄一：昆虫担当

28年4月24日～30年4月22日，30年4月22日～令和2年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月24日～30年4月22日，30年4月22日～令和2年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

29年1月1日～30年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会.

29年1月1日～30年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会.

30年4月1日～31年3月31日 「中国地方昆虫学会岡山県委員」 中国地方昆虫学会.

28年5月14日～令和元年5月ころの改選まで 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会.

28年4月1日～30年3月31日, 30年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員(昆虫部会副部長)」 岡山県野生生物調査検討会.

29年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課.

28年8月1日～30年7月31日, 30年8月1日～令和2年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

29年9月22日～31年3月31日 「岡山県ヒアリ対策に関する有識者会議委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

30年2月5日～令和2年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

31年1月16日～31年3月31日 「小田川柳井原地区川づくり検討協議会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所.

31年1月30日～31年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所.

27年7月1日～30年6月30日, 30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

29年4月1日～令和2年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人 岡山県環境保全事業団.

29年12月21日～30年1月31日 「岡山県自然保護センター研究報告第25号編集委員」 岡山県自然保護センター.

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会.

継続 「日本昆虫目録コムツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会.

#### (5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部.

継続 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県野生生物調査検討会.

28年4月1日～ 「岡山県野生動植物調査検討会動物部会部会長」 岡山県野生生物調査検討会.

30年4月22日～令和2年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

30年4月22日～令和2年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

30年7月1日～令和3年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

30年6月24日～令和2年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会.

5月16日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県.

10月9日 「第一回倉敷市環境審議会」 倉敷市.

2月7日 「第二回倉敷市環境審議会」 倉敷市.

#### (2) 狩山俊悟：植物担当(12回)

6月1日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第1回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

6月14日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2018年度第1回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

9月14日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第3回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

12月1日 「『タンポポ調査・西日本2020』第1回スタッフ会議」, タンポポ調査・西日本実行委員会.

12月18日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2018年度第2回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

1月25日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第4回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第2回運営委員会」, 岡山県野生動植物調査検討会.

2月12日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2019年総会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

2月20日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会植物部会(第5回)」, 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

2月25日 「第11回備前市歴史文化基本構想策定委員会」, 備前市教育委員会.

3月2日 「『タンポポ調査・西日本2020』第1回実行委員会」, タンポポ調査・西日本実行委員会.

3月19日 「平成30年度第2回備前市文化財保護審議会」, 備前市教育委員会.

#### (3) 奥島雄一：昆虫担当(11回)

6月27日 「平成30年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団.

7月5日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会(第2回)」 岡山県野生動植物調査検討会.

8月28日 「平成30年度第1回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会.

10月4日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会(第3回)」 岡山県野生動植物調査検討会.

12月19日 「平成30年度岡山県ヒアリ対策に関する有識者会議」 岡山県環境文化部自然環境課.

1月30日 「平成30年度岡山県野生動植物調査検討会昆虫部会(第4回)」 岡山県野生動植物調査検討会.

2月5日 「第4回小田川柳井原地区川づくり検討協議会」 国土交通省岡山河川事務所.

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会第2回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

## 5 会議等派遣

### (1) 小野行弘：館長(3回)



2月13日 「平成30年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」岡山県環境保全事業団.

2月22日 「岡山県自然環境保全審議会(全体会議)」岡山県自然環境保全審議会.

3月13日 「第2回小田川合流点付替え事業環境評価フォローアップ委員会」国土交通省岡山河川事務所.

(4) 江田伸司：動物担当(6回)

5月24日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第1回動物部会」岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

6月22日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第2回動物部会」岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

7月25日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第1回運営委員会」岡山県野生動植物調査検討会.

10月31日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第3回動物部会」岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

12月27日 「岡山県野生動植物調査検討会平成30年度第4回動物部会」岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

2月8日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第2回運営委員会」岡山県野生動植物調査検討会.

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「パオちゃん通信」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

メールマガジン登録者数：1,074名(平成31年3月31日現在)。

メールマガジン発行回数：18回(平成30年度)。

Twitterツイート数：270ツイート(平成31年3月31日現在)。

Instagram投稿回数：38回(平成31年3月31日現在)。

7 職員の研修参加

6月27~29日 資源地質学会第68回年会(東京大学), 武智泰史参加, 資源地質学会.

8月6日 平成30年度著作権セミナー, 狩山俊悟参加, 文化庁長官官房著作権課著作権普及係.

9月8~10日 日本昆虫学会第78回大会(名城大学), 奥島雄一参加, 日本昆虫学会.

10月23日 岡山県博物館協議会平成30年度第1回研修会「災害と博物館施設・7月豪雨災害をうけて」(倉敷市立美術館), 奥島雄一・狩山俊悟参加, 岡山県博物館協議会.

8 視察来館

12月19日 NPO法人地球年代学ネットワーク研究開発

支援室 1名

12月19日 首都大学東京 1名

2月5日 大分県教育庁社会教育課 1名

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ470名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ271名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 322名

11月3日 自然史博物館まつり 8,825名

3月16日 ないと!みゅーじあむ 1,258名

10 予算・決算(単位:円)

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額
観覧料	1,084,000	1,144,600
内、特別展	397,000	422,150
内、常設展	687,000	722,450
書籍売払雑入	464,000	350,976
施設使用料	0	7,020
観光休憩所水道料	133,000	132,911
拾得金返還雑入	0	2,300
諸証明手数料	0	0
労働保険料精算雑入	0	1,867
合計	1,681,000	1,639,674

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額
報酬	8,251,957	8,237,616
内、協議会委員報酬	71,000	56,800
内、非常勤職員等報酬	8,180,957	8,180,816
給料	24,550,000	24,529,800
職員手当等	12,738,142	12,695,477
共済費	9,299,901	9,299,901
内、報酬分	1,315,043	1,315,043
内、職員分	7,984,858	7,984,858
賃金	13,000	12,960
報償費	890,000	887,588
旅費	124,900	116,220
需用費	10,389,304	10,152,642
内、消耗品費	1,112,158	1,111,876
内、食糧費	14,000	9,100
内、印刷製本費	2,596,900	2,540,980
内、光熱水費	6,270,246	6,270,153
内、修繕料	388,000	213,138
内、飼料費	4,000	3,928
内、医薬材料費	4,000	3,467
役務費	548,440	467,450
内、通信運搬費	346,000	268,730
内、手数料	202,440	198,720
委託料	2,242,796	2,213,844
使用料及び賃借料	171,200	167,100
備品購入費	204,360	196,246
負担金補助及び交付金	56,000	56,000
合計	69,480,000	69,032,844

※その他の施設管理費(委託料;中央図書館支払分)  
15,876(千円)

11 年間利用者数

(1) 平成30年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	無 料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引			個人					団体					特別観覧	乳幼児							
		一般	大学生	一般	大学生		高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園	小学生	中学生	支援学校	高校生			その他						
4	26	508	32	2	44	586	155	37	217	21	61	40	86	0	0	4	0	82	177	880	1053	2519	91	2610	
5	26	569	28	1	26	624	207	31	247	47	32	0	456	0	57	0	0	35	210	1322	1072	3018	19	3037	
6	25	461	35	2	95	593	163	25	118	21	48	89	301	5	0	0	46	39	171	1026	1009	2628	134	2762	
7	22	640	29	0	0	669	95	45	372	49	289	66	0	0	0	53	76	245	1290	571	2530	0	2530		
8	25	1558	71	14	0	1643	269	81	859	119	327	0	0	50	25	0	235	112	573	2650	1483	5776	208	5984	
9	25	807	54	5	0	866	197	44	222	25	16	160	277	0	7	0	26	68	270	1312	913	3091	57	3148	
10	26	580	35	0	0	615	191	42	655	297	19	103	494	0	0	0	77	281	2159	1124	3898	80	3978		
11	26	370	23	0	0	393	529	21	2486	211	88	34	252	0	0	0	119	2116	5856	4909	11158	174	11332		
12	23	317	25	2	94	438	96	18	80	11	19	219	19	8	26	14	0	50	161	721	892	2051	151	2202	
1	23	407	27	1	0	435	81	25	149	34	11	319	603	77	0	0	53	196	1548	866	2849	122	2971		
2	24	488	25	0	0	513	110	45	229	14	8	593	1351	177	49	0	54	258	2888	1017	4418	135	4553		
3	27	623	43	6	51	723	158	51	402	29	31	289	0	49	0	39	67	638	1753	2033	4509	42	4551		
合計	298	7328	427	33	310	8098	2251	465	6036	878	949	1912	3839	366	164	18	399	832	5296	23405	16942	48445	1213	49658	

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座、学習コーナーでの手作り教室等参加者
- ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
- ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者、出張展示観覧者数

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個人												団体														
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4	138	79	217	10	11	21	30	31	61	40	0	40	0	86	86	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	
5	95	77	247	11	29	47	7	16	32	0	0	0	0	456	456	0	0	0	57	57	0	0	0	0	0	0	
6	78	40	118	9	12	21	16	32	48	54	35	89	207	94	301	0	5	5	0	0	0	0	46	0	0	46	
7	236	136	372	32	17	49	271	18	289	47	19	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	53	53	
8	521	338	859	69	50	119	288	39	327	0	0	0	0	0	0	50	50	25	0	25	0	0	105	130	235	235	
9	113	109	222	14	11	25	3	13	16	160	0	160	156	121	277	0	0	0	7	7	0	0	0	0	26	26	
10	230	425	655	228	69	297	4	15	19	103	0	103	176	318	494	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	47	83	248	3	104	211	8	2	88	34	0	34	132	120	252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	44	36	80	5	6	11	10	9	19	201	18	219	19	0	19	0	8	8	26	0	26	14	0	14	0	0	
1	81	68	149	29	5	34	4	7	11	308	11	319	603	0	603	77	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	130	61	229	10	2	14	2	6	8	490	103	593	1351	0	1351	0	177	177	33	16	49	0	0	0	0	0	
3	99	118	402	2	8	29	10	14	31	261	28	289	0	0	0	18	31	49	0	0	0	0	0	39	39	39	
計	1812	1570	6036	422	324	878	653	202	949	1698	214	1912	2644	1195	3839	95	271	366	91	73	164	14	4	18	151	248	399

・その他：児童クラブ、子ども会等

## 倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

### 1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

### 2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

#### ○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

#### ○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

#### ○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につなぐ持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

#### ○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

#### ○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

## 倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

### 1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

#### 〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

### 2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

#### 〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める

## ○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年 9月22日  
条例第28号

### (目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

### (名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

### (事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

### (職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

### (常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

- 2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

### (博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

- 2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

### (講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

- 2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

### (使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その

全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

### (使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

### (目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

### (入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- (6) その他管理上支障があると認める者

### (損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料をき損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

### (博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
  - (1) 学校教育及び社会教育の関係者
  - (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
  - (3) 学識経験を有する者
  - (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任することができる。

### (協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

### (委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

### 附 則

#### (施行期日)

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。  
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

#### (関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)  
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)  
(施行期日)

1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)  
(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)  
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)  
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)  
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)  
(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

2 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)  
常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)  
特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき540円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)  
講義室使用料

使用場所 /使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から 午前12時 まで	午後1時から 午後5時 まで	午前9時から 午後5時 まで	
講義室	432円	648円	1,080円	1時間につき 756円

備考

- 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
- 金額には消費税及び地方消費税を含む。

倉敷市立自然史博物館条例施行規則 昭和58年10月14日  
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。  
2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。  
(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)  
(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。  
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したのに対して観覧券を交付するものとする。  
2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。  
3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。  
(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。  
(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。  
(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。  
2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。  
2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。  
2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。  
3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。  
2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。  
(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。  
(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。  
(3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。  
(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。  
2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。  
(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント  
(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント  
(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント  
(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。  
(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除  
(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき 心身障害者の場合はその介護人1名を含めて観覧料の全額を免除  
(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除  
(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除  
(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除  
2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。  
2 会長、副会長は委員の互選により定める。  
3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。  
4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。  
5 会議は会長が招集する。  
6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。  
7 協議会に専門部会を置くことができる。  
8 協議会の庶務は、博物館において行なう。  
9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## ○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例（一部抜粋）

昭和42年2月1日

条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館 協議会委員	日額 7,100円

### ○利用案内

[開館時間]

9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、  
年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一般：150円(100円)

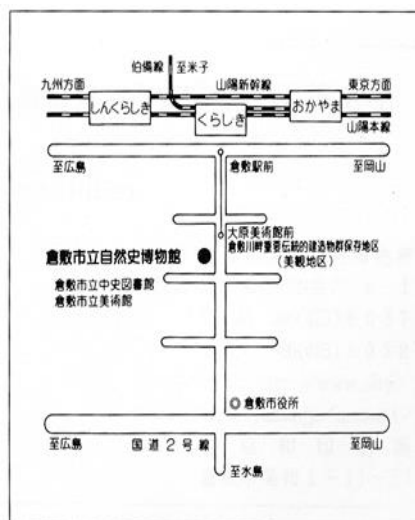
大学生：50円(30円)

高校生以下：無料

- ・かつこ内は20名以上の団体の場合。
- ・65歳以上の方、学齢未満の幼児、心身障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

- ・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第28号 (平成30年度)

---

令和元年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話 (086)425-6037

FAX (086)425-6038

E-mail: [musnat@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:musnat@city.kurashiki.okayama.jp)

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/index.htm>